

2017 アプローチ

KOBE No.46 2017.1.31



APPROACH

(一社) 兵庫県建築士事務所協会・神戸支部

特別企画 近代建築の改修デザインを考える

特別投稿 まちとつながる住宅によるエリア再生の試み



APPROACH No.46

(一社)兵庫県建築士事務所協会 神戸支部

巻頭挨拶	新年のご挨拶	神戸支部長	柏本 保	1
	新年に寄せて	神戸市長	久元 喜造	2
	新年のご挨拶	神戸市住宅都市局 建築指導担当局長	浜田 有司	3
	新年のご挨拶	神戸市住宅都市局 建築指導部安全対策課長	東 和恵	4
	新年のご挨拶	神戸市住宅都市局 建築指導部耐震推進課長	矢島 利久	5
	新年のご挨拶	一般財団法人 神戸すまいまちづくり公社住環境再生部長	根岸 芳之	6
〈特別企画〉				
	近代建築の改修デザインを考える	京都工芸繊維大学助教	笠原 一人	7
〈特別投稿〉				
	まちとつながる住宅によるエリア再生の試み	神戸芸術工科大学 環境デザイン学科	川北 健雄	13
		神戸芸術工科大学 環境デザイン学科	花田 佳明	
		設計組織 アルキメラ	山田 幸	
		有限会社 ランドサット	安田 利宏	
事業報告	定時総会・講習会・研修見学会			21
活動報告	平成28年度 第1回法規講習会レポート	黒田建築設計事務所	浜田 洋光	24
	神戸支部一泊研修旅行 in 今治みなと再生PJとしまなみ海道	三和シャッター工業㈱	三原 芳之	25
	日帰り研修「㈱淀川製鋼所大阪工場見学とヨドコウ迎賓館見学」	広報部	寶谷 勝馬	28
	第33回親睦ボウリング大会			30
同好会だより	KJ会(ゴルフ同好会)			31
	KM会(麻雀同好会)			31
	トレッキング同好会			32
〈建築士事務所キャンペーン〉				
	第20回 灘ふれあい秋まつり	灘区地区別連絡協議会	成瀬 秀一	38
	平成28年度 建築士事務所キャンペーンを終えて	副支部長	藤澤 利行	40
	マンション管理組合向けセミナー「災害(地震)への備え」	共催セミナー担当	成瀬 秀一	42
	平成28年度 神戸市すまいの耐震キャンペーン オープニングイベント		成瀬 秀一	44
組織図				46
受賞者紹介				48
新入会員紹介				49
作品紹介				51
ちょっとひと休み	『雲の上に立つ』富士登頂回想録	関西塗研工業㈱	藤田 秀人	62
会員の広場	CAMINO DE SANTIAGO サンティアゴへの道	㈱黒田建築設計事務所	石田 邦夫	64
第3回	フォトコンテスト			67
協賛広告				73
編集後記				81

本誌の掲載文は、執筆者が個人の責任において自由に書く建前をとっております。
掲載文の文責は執筆者本人にあります。

表紙デザイン …… 大和船舶土地一級建築事務所・有限会社 ランドサット
表紙写真撮影 …… 京都工芸繊維大学助教 笠原 一人



新年のご挨拶

神戸支部長 柏 本 保

新年明けましておめでとうございます。

神戸支部会員並びに賛助会員の皆様には、平素より支部の活動にご支援賜りまして心から感謝申し上げます。

平成28年4月28日開催の第57回定時総会におきまして2期目の神戸支部長を拝命いたしました。これも3人の副支部長はじめ、幹事の皆様、正会員、賛助会員の皆様の支えによるものと改めまして感謝申し上げますと同時に県下最大支部・支部長として責任の重さをひしひしと感じております。

さて、今年度も灘の桜祭りへの参加、4年連続の板宿の建築士事務所キャンペーンをはじめ、愛媛県今治市への一泊二日の研修旅行、会員親睦のためのトレッキング同好会、生き生き下町協議会への参加、賛助会主催の日帰りセミナー、KJ会、KM会、会報誌『アプローチ』の発行と順次精力的に事業を消化してまいりました。

なかでも今年は2つの大きな成果がありました。一つ目は私の警察への2件の悪徳リフォームの捜査協力が発端となりました。詐欺まがいの業者を撲滅するには改修工事が完了してからではなく、未然に防ぐための一般市民への啓発が必要であるため、兵庫県警察本部に対し市民向けキャンペーン等を神戸支部と合同で行うことを提案させていただきました。

手始めに昨年の板宿の建築士キャンペーンにおいて「合同キャンペーン」を行い、兵庫県警のゆるキャラ「こうへいくん」にも参加していただき一定の成果を収めることができました。

さらに本部の依頼で行う5支部での一般市民向

けの「インスペクション普及啓発のためのセミナー」も、悪徳リフォームの被害にかからないために自宅のリフォーム、耐震工事を行う際には専門家の建築士に「インスペクション」を依頼しようという意味合いも込め、兵庫県警察本部と合同で開催する運びとなりました。

ちなみに神戸支部は今年2月4日(土)の開催予定です。

もう一つは愛媛県の今治市への一泊二日の研修旅行時の(一社)愛媛県建築士事務所協会との交流です。5年ほど前に愛媛会の青年部会が神戸へ来られ交流会を開催いたしました。今回その流れで愛媛会の副会長はじめ5名の方々に懇親会に合流していただき、情報交換することができました。私個人的には、近畿ブロックの事務所協会とは本部役員として常時交流いたしておりますが、それ以外の他府県との交流を楽しむことで概ね参加者には好評でした。これを機会に今後も他府県への一泊研修旅行の際には、地元の建築士事務所協会との交流会を恒例にしたいと思っております。

最後になりますが、我が神戸支部におきましても正会員の高齢化による役員の後継者問題、会員数の減少による財政問題等懸案事項を抱えておりますが、引き続き建築を通じて地域への社会貢献し、一般市民の方々へ設計事務所の職能を認知していただくための努力を惜しまないよう尽力する所存でありますので、今後も神戸市の皆様、正会員、賛助会員の皆様の神戸支部へのご指導、ご協力をお願いいたしまして、私の年初めのご挨拶とさせていただきます。



新年に寄せて

神戸市長 久元 喜造

新しい年を迎えるにあたり謹んでご挨拶を申し上げます。

兵庫県建築士事務所協会神戸支部の皆様には、日ごろから市政に対し格別のご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

平成29年1月1日、神戸港は、開港から150年の節目を迎えました。そこで、神戸市では、開港150年記念事業として、神戸港での多彩な行事や港の利用拡大につながる事業を行い、神戸の魅力を広く内外に発信してまいります。市民の皆さまに港に対する親しみを深めていただく機会でもありますので、沢山の方々にご参加いただきたいと思います。

さて、神戸が将来にわたって安定的に成長を続けていくためには、神戸経済を支え、地域社会を担う若い世代の人たちに、神戸で住み続けていただけるような都市環境を整える必要があります。

そのため、企業や大学等との連携を緊密にし、新たに社会人となる人たちが神戸で魅力のある仕事に出会えるチャンスを増やすのはじめ、子育てがしやすい環境整備や、学校教育の充実などの重要な課題に引き続き取り組んでまいります。さらに、身近で便利な公共交通網の整備や災害への備えなど、市民の皆さまが、いつまでも安心して暮らすことができるまちづくりを進めてまいります。

また、神戸に関する情報を積極的に発信することも重要だと考えています。連続テレビドラマ「べっぴんさん」の放映を契機に神戸への注目が高まっており、地元企業におきましても、神戸で長年培われてきたものづくりの質の高さを発信する取組みが始められています。この機運を活かして、神戸の街や暮らし、文化などの持つ魅力を全国に発信してまいります。

これらの施策をこれまで以上にスピード感をもって推進し、着実に神戸の総合力を高めてまいります。

兵庫県建築士事務所協会神戸支部の皆様におかれましても、引き続き市政へのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

末筆ではございますが、平成29年が皆さまにとって素晴らしい一年となりますことをお祈りいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

神戸市住宅都市局

建築指導担当局長 浜田 有 司

あけましておめでとうございます。

兵庫県建築士事務所協会神戸支部の皆さまには、日頃より神戸市の建築指導行政に格別のご理解とご協力をたまわり、厚く御礼申し上げます。

未曾有の災害であった東日本大震災から5年となった昨年は、またしても各地で大地震が発生しました。4月には熊本で、10月には鳥取で。いつどこで起きても不思議ではない地震に対して、建築物の安全性は常に最重要課題であるということ、あらためて再認識させられた1年でありました。

神戸市では、昨年3月に「神戸市耐震改修促進計画（2016～2020）」を策定し、耐震化への取り組みを再びスタートさせました。阪神淡路大震災から22年が経ち、市内の建築物の耐震化も相当進んではまいりましたが、古い住宅が密集する市街地やいわゆるオールドニュータウンなどでは、居住者層の高齢化ともあいまって、耐震化が遅れている地域がまだ残されております。それぞれの地域の特性に応じた居住者への働きかけをさらに強めていくことが重要と考えています。

耐震化と並んで、本市の建築指導行政にとって大きな課題は、増え続ける空家・空地対策です。昨年6月に「神戸市空家空地対策の推進に関する条例」を制定し、10月から全面的に施行いたしました。この条例では、空家のみならず空地も対

象として、それらを放置せず適切に管理することを求めています。人口減少社会を迎え、年々増加する空家・空地が新たな都市問題となりつつある昨今、市民の生活環境を保全するとともに、健全なまちづくりを進めていくことを目的に空家・空地対策に取り組んでいきます。

これらの耐震化施策や空家対策は都市の喫緊の課題ではありますが、長い目で見据えながら今後取り組んでいくべき課題として建築分野における環境対策が挙げられます。これまでも「建築物環境配慮条例」を制定し、建築物が周辺環境に寄与していけるような施策を展開してまいりましたが、今後さらに緑化基準の見直しや建築物の省エネ基準への適合義務化などを進めていく予定です。地球温暖化対策は世界的な課題になっていることから、ひきつづき息の長い取り組みを進めていく必要があるかと考えております。

このように建築物をとりまく課題には様々なものがございますが、いろいろな場面で、これからも皆さまのご尽力をお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

神戸市住宅都市局

建築指導部安全対策課長 東 和 恵

新年あけましておめでとうございます。

平素より建築指導行政にご協力を賜り、誠にありがとうございます。

神戸市では、阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、建築物の質の向上を図り、安全で安心なすまい・まちづくりを推進することを目的に「神戸市建築物安全安心推進協議会」を設け、取り組みを進めております。この協議会は、建築関係をはじめとする各種団体及び関係機関（約40団体）で構成され、「神戸市建築物安全安心実施計画」を策定し実施しています。これまで、完了検査率の向上により適法な建築物を供給するというフロー対策や、定期報告制度の報告率向上によるストック対策等に取り組んできました。兵庫県建築士事務所協会神戸支部様には、平成11年の協議会設置当初からご参加いただき、ご尽力いただいております。

いよいよ現計画（第4次：平成26～30年度）も後半に入ったことから、今年は、次期計画策定を念頭に置きながら、現施策の検証・評価準備にとりかかる予定です。

また、増え続ける空家問題に対応するために昨年度設けた「神戸市空家等対策計画の作成に関する協議会」にもご参加いただきました。市では、協議会の意見を参考に「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づく「神戸市空家等対策計画」

を策定し、基本姿勢を示しました。また、法を補完し、「空家」と同様の課題を抱える「空地」も対象とする「神戸市空家空地対策の推進に関する条例」を制定し、昨年10月に全面施行し、本格的な空家・空地対策を開始しました。市民の生活環境を守り、健全なまちづくりを進めるために、空家・空地対策を推進しているところです。

これらの取り組みにより、安全・安心なすまい・まちづくりを推進しなければなりません。それには皆さまのご支援が不可欠です。今後とも、引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆さまの益々のご発展とご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

神戸市住宅都市局

建築指導部耐震推進課長 矢島 利久

新年明けましておめでとうございます。

兵庫県建築士事務所協会神戸支部の皆様には、平素よりすまいの耐震化促進事業の運営について、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年は阪神・淡路大震災から22年を迎えます。一方、昨年は熊本県やイタリア中部、ニュージーランドでも大きな地震が発生しており、災害リスクはなくなりません。震災の経験と教訓を風化させることなく、住宅・建築物の耐震化をより一層推進してまいりたいと決意を新たにいたします。

神戸市では、昨年度に「神戸市耐震改修促進計画」(平成20年策定)の目標年度を迎え、これまでの取り組みの検証と今後の課題・目標について検討し、平成28年3月に「神戸市耐震改修促進計画(2016~2020)」を新たに策定しました。貴支部の柏本支部長にも有識者会議にご参画いただきました。すまいの耐震化に向けた様々な取り組みの結果、平成15年時点の住宅耐震化率84%から、平成25年の耐震化率は約91%となりました。しかし、昭和56年以前の旧耐震基準住宅で耐震性のないものがまだ約6万7千戸存在すると見られることから、計画ではこの数を約3万戸減少させ、平成32年度に耐震化率を95%とすることを目標としています。そのため、地域特性に応じた耐震化の取り組みや中古住宅流通を契機とした耐震化の促進の必要性などが新規施策として盛り込まれています。

耐震化に向けた支援制度やすまいの耐震化の普及啓発を集中的に行うために、神戸市・神戸市すまいとまちの安心支援センター(すまいるネット)では、市民団体や専門家団体・報道機関等と連携し、毎年9月・10月に「すまいの耐震キャンペーン」を開催しています。

昨年度も、貴支部の耐震診断員の皆様には、お忙しい中「オープニングフェア」「灘ふれあい秋まつり」や板宿商店街での「建築士による“住まいの相談会”」を開催いただき、ありがとうございました。また、耐震改修にからむ悪質業者への注意喚起のため、兵庫県警とも連携して市民啓発を進めていただきました。身近な場所で専門家に相談する機会があることで、市民の方々の住まいに関する不安を少しでも解消できたかと思えます。

貴支部の皆様には、耐震相談、耐震診断員派遣事業等を通じて市民の皆様と行政を結ぶ重要な役割を担っていただいております。今後も、建築士である専門家、地域住民、事業者そして行政が一体となって、すまいの耐震化を進める必要があります。また、耐震改修促進計画で提示された課題に対応した新しい取り組みの展開も期待されます。引き続き、皆様の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年も皆様方の益々のご多幸とご発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

一般財団法人 神戸すまいまちづくり公社
住環境再生部長 **根岸 芳之**

新年明けましておめでとうございます。

平素より当公社の事業に格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

当公社では、すまい・まちづくりを通じ、市民の豊かな生活に貢献することを使命として、準公共的な分野を中心に、市民や地域社会からの多様なニーズに的確に応え、安全・安心・快適な生活の実現に寄与してまいりたいと考えております。

住環境再生部におきましては、主に2つの事業に取り組んでおります。

まずは、設立当初より神戸支部の皆様方にご大変わ世話になっております「すまいるネット」です。開設から17年目を迎え、一定の評価をいただきながら、日々成長しているところです。運営に関しまして、平素より多大なるご支援、ご協力をいただいておりますことを本当にありがたく思っております。厚く御礼申し上げます。

すまいるネットでは、すまいに関する相談業務からまちづくりの専門家派遣まで、すまいとまちに関するワンストップサービス拠点として取り組んでおりますが、その業務は年々拡大しております。

約1年前に「空き家の活用に関する相談窓口」を開設しました。使える空き家の有効活用を促進したいということで、一般相談に加え、専門家による相談、さらに課題解決や活用方法等の具体的な提案を可能とする体制を整えています。これま

でに約700件のご相談をいただいておりますが、まずは窓口を知っていただく必要があり、より一層のPRに努めていきたいと考えております。

また、団地再生につきましては、鶴甲団地において、平成26年度より既存住宅の流通促進に取り組んでおります。公社賃貸住宅の空き家を活用し、実際にリノベーションを行い、モデルルームとして公開するといったことなどを行ってきました。さらに今年度は、民間住宅市場で物件を買取り、リノベーションを実施したうえで再販するという買取再販事業をモデル的に進めております。

もうひとつは公社賃貸住宅事業です。当公社では、一般賃貸、直営特優賃、借上特優賃など77団地約3,200戸の賃貸住宅の管理運営を行っております。新婚世帯や子育て世帯向けの補助制度を設けるなど入居促進に努めるとともに、改修する仕上材の一部を選択できるカスタマイズ賃貸やDIY賃貸等の取り組みも行っております。

また、より安全・安心・快適にお住まいいただくために、計画的な大規模修繕工事やリノベーション等につきましても、神戸支部の皆様方のお力をお借りしながら取り組んでいるところです。

本年も、変わらぬご理解とご協力をお願いするとともに、皆様の益々のご発展とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

近代建築の改修デザインを考える

京都工芸繊維大学助教

笠原 一人

■近代建築の保存活用

2016年は、近代建築の保存活用の活動や建物が、新聞やテレビを通じて広く話題になった年であった。



図1 京都会館

1月には旧京都会館（前川國男設計／1960年竣工／図1）がロームシアター京都（香山壽夫改修設計／図2）としてリニューアルオープンし、3月には神奈川県立近代美術館鎌倉館（坂倉準三設計／1951年竣工）が閉館して保存活用に向けて動き始めた。7月には国立西洋美術館（ル・コルビュジエ設計／1959年竣工／図3）が世界文化



図2 ロームシアター京都



図3 国立西洋美術館

遺産として登録され、9月には国立代々木競技場（丹下健三設計／1964年竣工）の世界文化遺産への登録に向けた推進運動が始まった。戦後建築についても歴史的価値が高まり、保存活用が進みつつあることを実感させる。



図4 西脇小学校

関西では戦前の近代建築の保存活用が注目された。兵庫県の西脇市立西脇小学校木造校舎（内藤克己設計／1937年竣工／図4）では、2015年1月に保存活用が決定された後、2016年には神戸大学チームによる改修計画が進んだ。また神戸の御影公会堂（清水栄二設計／1933年竣工／図

5)の保存活用が決定し、2016年4月から耐震改修工事が始まった(昭和設計改修設計/2017年竣工予定)。阪急阪神ホテルズが運営する六甲山ホテル旧館(古塚正治設計/1928年竣工/図6)は、2015年末に突然閉鎖されて存続が危ぶまれたが、2016年8月に八光自動車工業株式会社が建物を買い取ることを表明し、ホテルとして活用されることになった。また京都の新風館(吉田鉄郎設計・R.ロジャースほか改修設計/1926年竣工・2001年改修/図7)はホテルに建て替えられることになり、1926年竣工のオリジナル部分を残して、2001年の改修による増築部分が解体された。

こうした事例の数々は、内容の良し悪しは別にして、各地で近代建築への関心が高まっており、何らかの保存活用が進んでいることを物語っている。ただ、事例が増えるにつれて問題として見えてくるのは、その保存活用に向けた改修(リノベーション)のデザインや設計のあり方であろう。改修すること自体に問題はない。もはや近代建築をオリジナルの姿のまま保存することはできないし、そんなことを望む人もいない。しかし改修デザインのやり方によっては、歴史的価値が大

きく損なわれてしまいかねない。

本稿では、2016年に注目された保存活用事例から見えてくる、改修デザインの問題を論じてみたい。



図6 六甲山ホテル

■改修デザインの良し悪し

東京の国立西洋美術館は、阪神大震災直後の1998年に地下階の増築や免震レトロフィット化など、大規模な改修が実施された。しかし、正門側から見る外観はほとんどオリジナルのままの姿が維持されている。ル・コルビュジエとその日本人の弟子たちが設計した歴史的価値の高い作品であり、2007年には国の重要文化財に指定されている。オリジナルの建物の歴史的価値が尊重された、大規模だが丁寧な改修が実施された成果である。

また西脇小学校については、神戸大学の教員らから成る建築家と建築史家の混合チームが、市民との対話を続けながら改修デザインに取り組んでいる。機能性の改善のために渡り廊下が新たに設置されるようだが、歴史



図5 御影公会堂



図7 新風館

的価値の高い建築物の保存活用として、理想的な体制と方法で取り組んでいると言える。

こうした良き事例とは対照的なものとして、京都会館を改修したロームシアター京都がある。オリジナルの建物は、ル・コルビュジエの弟子で国立西洋美術館の設計にも関わった前川國男による優れた作品であったが、大ホール部分を解体しオペラも上演可能な大規模な施設にすべく改修を行った結果、オリジナルの建物が持つ歴史的価値は大きく損ねられてしまった。それは、京都市が要求したプログラムが既存の建物に見合ったものでなく過剰であることも原因であるが、改修設計者の「世界」を押し付けたような過剰な改修デザインこそが大きな問題であろう。

ヨーロッパなどでは、改修設計者の「世界」を存分に発揮した、しかし優れた改修事例は多数存在する。日本でも前述した京都の新風館は、改修設計者の「世界」と既存の歴史的建築物とが共存した優れた改修デザインの事例であった。した

がって、ロームシアター京都の改修デザインは、単に下手であるだけなのだが、同じ改修設計者による東京大学工学部の校舎の1970年代から90年代にかけての改修は歴史的価値が尊重された優れたものであっただけに、残念というほかない。

神戸の御影公会堂や六甲山ホテル旧館については、進行中のプロジェクトであるため結果の良し悪しはまだ判断できないが、改修デザインのあり方が懸念される。担当しているのは著名な設計会社だが、歴史的建造物の改修を得意としているわけではない。歴史的建造物の改修についての専門家が関わっているわけでもなさそうだ。必要以上に綺麗になったり、歴史的な価値が損なわれたりしてしまうのではないかと危惧している。

六甲山ホテル旧館についても、所有者が変わりホテルとして存続することになったのは大変喜ばしいが、どのように改修するのか、歴史的建築物の専門家が関わるかどうか不明である。放っておけば、悪しき改修事例になりかねない。



図8 Sanatorium Zonnestraal

■文化財制度の問題

こうした状況からは、保存活用が決定されたとしても、歴史的価値の高い建築物の改修デザインに対して十分な理解やセンスのない設計者により、歴史的価値を大きく損ねてしまう可能性があることが見えてくる。なぜそんなことが生じてしまうのか。ここでは建築の保存活用を国の政策とし、近代建築の保存活用に関して数多くの優れた事例が存在するオランダと比較しながら論じておきたい。

オランダでは、歴史的建築物の多くが文化財に指定されている。オランダの国の文化財（他に州や市の文化財がある）は、実質日本の50倍ほどの密度で存在し、法律上建物を解体できない建物に限定して比較すれば、実質200倍ほどの密度で存在する。日本と異なり、文化財指定に際して、所



図9 Selexyz Dominicanen

有者の同意を事実上必要としないため、可能になる数である。

その文化財の改修に際しては、行政担当者や建築家、建築史家などを交えた委員会が立ち上げられて議論を尽くし、その歴史的価値に見合った改修が行われる。例えばモダニズムの著名な建築家の作品、すなわち作品的自律性の高い歴史的建築物であれば、その歴史的価値を非常に尊重した改修が行われる。一方で、元々人間が活動する空間として造られたものではない産業遺産であれば、大幅に改修せざるを得ないし、そうしてもよいという判断がなされる（図8-11）。



図10 Kraanspoor

一方日本では、歴史的建築物の改修にあたって、こうした手続きが取られることは、まれである。なぜなら、オランダとは対照的に、歴史的建築物のほとんどが文化財になっていないからである。日本でも、文化財に匹敵する歴史的価値の高い近代建築が各地に多数現存している。あくまでも歴史的建築物を守るための文化財制度や環境整備が不十分であるため、文化財が少ないだけなのである。

しかし日本の改修設計者は、文化財に指定されていないければ、歴史的建築物でも自由に改修デザインに取り組んだらよいと判断してしまうようだ。あるいは歴史的価値を尊重したつもりでも、結果的には、改修デザインが下手なために（あるいは方法を知らないために）、その価値を損ねてしまっていることが少なくない。

前述の京都会館は、文化財には指定されていないかったものの、前川國男の設計による歴史的価値が高く、慎重に改修すべき建物であったのだが、そうはならなかった。改修デザインを担当した建築家いわく、京都会館についての歴史的評価や調査の成果はすべて目を通したが、何の役にも立たなかった。自分で自由に考えて歴史的建築物に向き合うしかないのだ、と述べていたのが印象的だ(註1)。

その結果がロームシアター京都であるが、こうした建築家は、改修と新築設計は同じものであり、誰でも改修デザインは上手くできると思っているようだ。現実にはそんなことはない。もちろん両方に長けている建築家もいるが、ごくわずかである。ヨーロッパでも、新築の設計は上手いが、改修デザインが下手な建築家はいる。その逆もある。新築の設計と歴史的な建築物の改修デザインは、一見同じように見えながら、別の論理やセンス、経験が必要なのであろう。

■歴史的建築物への向き合い方

オランダに、モダニズム建築の保存に関する国際組織DOCOMOMOの創立メンバーで初代事務局長を務めたヴェッセル・デ・ヨング(Wessel de Jonge/デルフト工科大学教授)という建築家がいる。ファン・ネレ工場(Van Nelle/プリンクマン&ファン・デル・フルフト設計/1931年竣工/図12)の改修デザインを担当し、歴史的な価値や特質を十分残しながらオフィスビルに改修



図11 HET Architectenbureau

した。その結果、ファン・ネレ工場は2014年に世界文化遺産に登録された。

そのデ・ヨング氏によれば、歴史的価値の高い建築物の改修デザインについては、上手い建築家とそうでない建築家がいるという。それはセンスの有無によると言うが、そんな才能に由来する違いを最小にとどめ、改修デザインの質の高めるには、歴史的建築物の改修に際して調査を徹底し、その調査の成果を元に歴史的な価値や何を残すかを判断し、そこから新たなデザインを提案することが重要だとする(註2)。

加えて、改修デザインにあたっては「機能は形態に従う(function follows form)」というテーゼが重要だという。これは、モダニズム建築のテーゼの1つである建築家ルイス・サリバンによる「形態は機能に従う(form follows function)」を反転させたものであるが、形に見合った機能を与えることが改修デザインにおいて重要なことであることをシンプルに伝える名言であろう。

日本において、オランダと同様の改修デザインの質を求めるのは、制度上も建築家の質としても、今のところ難しい。しかし今後、歴史的建築



図12 Van Nelle

物については、文化財に指定されていない場合でも、複数の専門家とともに議論しその価値を吟味した上で改修デザインに取り組めるような仕組みづくりができれば、多少は改善されるようになるかもしれない。近年、全国的に増えつつあるヘリテージマネージャーが関われば、より効果的なものになるだろう。

加えて、改修デザインに関わる建築家諸氏の自覚も必要である。文化財でなくとも調査を十分に行い、価値を吟味し、建築家が歴史的建築物に丁寧に向き合うことが重要になる。その上で、あえて大胆に改修し、それが新旧の共存する魅力的なものになるのであれば、それはそれでよい。手順を踏むことなく無自覚に、ただ自由に歴史的建築物に向き合うことだけは避けるべきだろう。

歴史的建築物の改修デザインについての専門家の教育も必要であろうから、一朝一夕で解決する問題ではない。まずはこうした問題があることを自覚することから始めるしかないだろう。

[撮影：笠原一人]

笠原 一人 (かさはら かずと) 京都工芸繊維大学助教
1970年神戸生まれ。1998年京都工芸繊維大学大学院博士課程修了。2010-11年オランダ・デルフト工科大学客員研究員。近代建築史・建築保存再生論専攻。日本建築学会近畿支部近代建築部会主査。DOCOMOMO Japan幹事。住宅遺産トラスト関西理事。著書に『記憶表現論』（編著、昭和堂、2009年）、『関西のモダニズム建築』（共著、淡交社、2014年）、『村野藤吾の住宅デザイン』（共著、国書刊行会、2015年）、『村野藤吾の建築—模型が語る豊饒な世界—』（共著、青幻舎、2015年）ほか。

註

註1：2016年5月10日にロームシアター京都で開催されたシンポジウム「モダニズム建築の保存改修について考える」（主催：日本建築学会近畿支部）における香山壽夫氏の発言。

註2：2016年11月26日に京都工芸繊維大学で開催されたシンポジウム「鉄筋コンクリート建造物の保存と活用」（主催：京都工芸繊維大学大学院建築学専攻ほか）におけるヴェッセル・デ・ヨング氏の発言。

まちとつながる住宅によるエリア再生の試み

神戸芸術工科大学 環境デザイン学科 川北 健雄
 神戸芸術工科大学 環境デザイン学科 花田 佳明
 設計組織 アルキメラ 山田 宰
 有限会社 ランドサット 安田 利宏

1. はじめに

全国で人口減少が進む中、高度成長期に開発が進められた都市近郊の住宅地の中には、空き家や有効活用されない土地が増えているところが多い。

平成27年国勢調査の結果によれば、神戸市における過去5年間の人口増減は、中央区が6.9%、灘区が2.0%、東灘区が1.5%の増加なのに対し、長田区が3.7%、北区が3.1%、須磨区が3.0%、西区が1.4%、兵庫区が1.2%、垂水区が0.4%の減少で、市内でも地域ごとに違いがある。さらに詳しく見ると、人口減少が大きいエリアは、北区と西区の農村部のほか、兵庫区から垂水区に至る六甲山南麓域に広がり、特に1960年代以降に開発が行われた多くの住宅地が含まれている。¹⁾

筆者らは、本誌2015年1月号（APPROACH No.44）において、「リノベーションによる個別更新を通じたまちの魅力づくり」という題目で、上記人口減少地域に含まれ高齢化が進展しつつある須磨区禅昌寺町周辺での、老朽化した建物の個別改修を通じた持続的なまちづくりの可能性を提示した。本稿では同地域を対象として、建て替えや有効な活用がなされていない土地への新築も含めたより包括的な視点から、個別更新の積み重ねを通じたエリアのリノベーションという考え方と、そのための建築デザインの手法を提示する。

より具体的には、対象地域内における産学連携の取り組みの一環として、不動

産事業者、大学、建築設計事務所のチームワークを通して実現してきた、以下の改修・新築事例²⁾について紹介する。

- ①鈴木文化シェアハウス（木造2階建アパートの改修）
- ②禅昌寺キオスク（長屋のシェアハウスへの改修）
- ③Y's House 禅昌寺11（4住戸の集合住宅の新築）
- ④Y's House 禅昌寺12（連結された4住戸の新築）
- ⑤禅昌寺ガレージ（駐車場を敷地とする3つの賃貸住宅の新築）

これらはいずれも賃貸住宅であるが、それぞれの立地条件と入居者タイプに応じて、住戸・住宅相互の関係ならびにまちとの接続の仕方が異なっ



紹介プロジェクト分布図³⁾

ている。それぞれが独立したプロジェクトでありながらも、プライベートな領域とパブリックな領域の関係を再構築するという共通した理念にもとづいて実現されている。これらを分散配置していくことで、生活空間としてのエリア全体の魅力と価値を徐々に高めていくことをめざしている。

2. 個別プロジェクトの紹介

2-1 鈴木文化シェアハウス

高度成長期に多く建設され、関西で「文化住宅」と呼び慣わされてきた木造2階建アパートの部分的な改修である。築後38年を経て老朽化が進み、全8戸のうち空室となった1階の連続する3戸を改修することになった。改修に際しては界壁の一部をなくし、集約した水廻りを設けた共用スペースと3つの個室からなるシェアハウスへと組み替え



鈴木文化シェアハウス 外観⁴⁾



鈴木文化シェアハウス 共用スタジオ⁵⁾

た。また、共用スペース（シェアスタジオ）をできる限り地域に開いて、個室→シェアスタジオ→前庭→道路へと、生活が段階的にまちへとつながる工夫をした。

閉鎖的なファサードを有していた既存アパートの1階部分に共用スペースとしてのシェアスタジオを設けることで、ファサードの開放性を高め、建物とまちとの連続性を向上させた。スタジオの開口周りでは、入居者である学生と犬の散歩などで通りがかりの地域の人々たちが声を掛け合う姿がみられ、高齢化の進むこの地域の中に活気ある空間が生まれている。



鈴木文化シェアハウス 個室内部と共用浴室⁶⁾

トイレ・浴室・台所などを共用設備として集約することで、多くのワンルームマンションでは得られないような、ゆったりとした個人の空間を確保する一方、シェアスタジオを開放的なものとするすることで、近隣の人々との間に自然なコミュニケーションが生まれ、まちの中で暮らすことを楽しめるような空間のしくみを提供している。

2-2 禅昌寺キオスク

改修を行った3軒長屋が位置するのは、多くの植栽や生活道具が路地空間に表出する下町的な風景が魅力的な住宅地に入る橋のたもとである。この周辺でも高齢化が進み、中央住戸の1階にあつ



禅昌寺キオスク 外観

たパン屋は閉店して5年以上が経っていた。そこで今回の改修では、若い居住者を呼び込んで近隣のにぎわいにも役立つ場所をつくることが期待されていた。

ここでは3軒長屋の西側2軒を、2階に3つの個室、1階に共用スペースを持つ若者向けのシェアハウスに改修した。閉鎖的になっていた街角部分を開放して休憩所を設け、外に置かれていた自動販売機を取り込んで、近所の人々が気軽に立ち寄ることのできるまちの「キオスク」とした。メッセージを書ける黒板壁の前のベンチはシェアハウスの居間の縁側へと続き、奥の路地空間へと連続している。上部壁面に設置した電波時計は、行き交う人々に実用情報を発信し、「キオスク」の公共性を象徴する。



禅昌寺キオスク 居間(左上)、キオスク(左下)、個室内部(右)⁷⁾

シェアハウスの玄関土間は、ショーウィンドウもある吹抜けの空間とし、劣悪であった建物中央部の通風採光を大きく改善した。「キオスク」と居



禅昌寺キオスク 玄関土間上部吹抜⁸⁾

間・浴室などの共用スペース、そして3つの個室は、すべてこの空間を介してつながっている。若者たちとご近所の方々が縁側で話をする姿も見られるようになっている。

2-3 Y's House 禅昌寺11

前面道路との高低差を処理するために設けられた石垣が、この敷地の最大の特徴であり、同様の特徴を有する隣接地の住宅と一群となって、独特なまちなみを形成している。ここには低い木造2階建の住宅が建っていたが、構造的にも傷みが著しく、敷地のポテンシャルを最大限に生かすには、周辺への眺望も生かせるように、少し高さを増した集合住宅に建て替える方が良いと判断して、新築による更新を選択した。

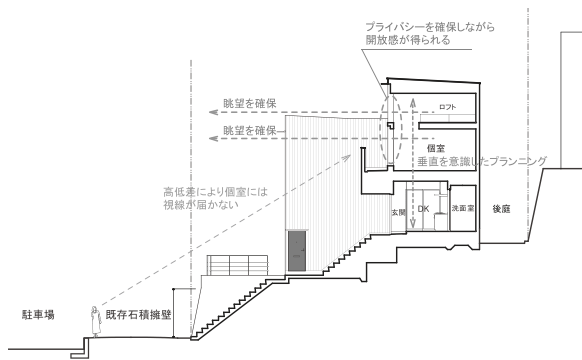


Y's House 禅昌寺11 外観⁹⁾

住戸の構成は、シングルタイプ2住戸とファミリータイプ2住戸、合わせて4戸の住宅の組み合わせとなっている。小規模ながらも多様性が生まれることを意図して、二人の建築家が2住戸ずつを担当して共同で設計し、若い世代をターゲットとした個性的なデザインの集合体とした。シングルタイプの住戸には吹抜やロフトを設け、垂直方向に伸びやかな空間構成とした。ファミリータイプはデッキとLDKの一体的な利用や可動間仕切による、水平方向に伸びるプランが特徴的である。



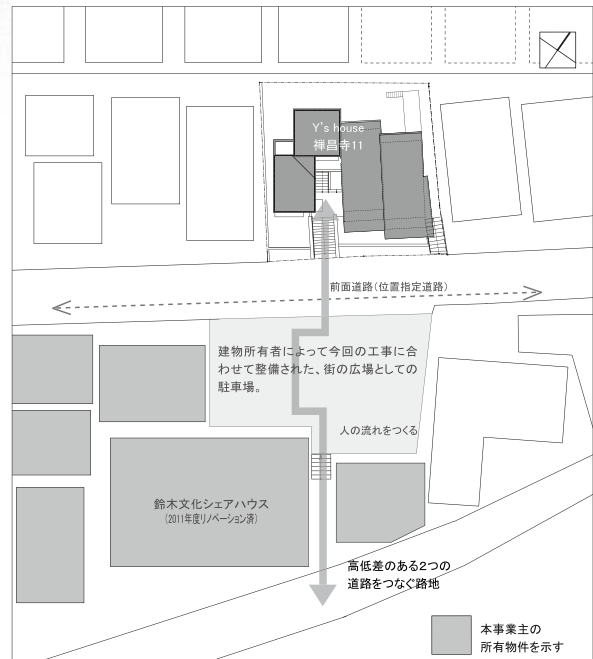
Y's House 禅昌寺11 住戸内部¹⁰⁾



Y's House 禅昌寺11 断面図

周辺との関係については、既存の石垣を残すことで街並の連続性を保ちつつ、住戸単位に分節されたファサードによって、戸建住宅の建並ぶ周囲のスケールと調和させている。

建て替え前の前面道路の幅員は4m未満であったが、道路向かいの駐車場も同じ事業者の所有地であるため、今回の建て替えに合わせて、そちら側の道路境界線を後退させて幅員を確保し、景観上重要な石垣が恒久的に保存されるようにした。



Y's House 禅昌寺11 周辺との関係

また、この駐車場の南側には、前出の「鈴木文化シェアハウス」が位置しており、将来この駐車場に建物が建つ際にも、路地と階段による通路を連続的に確保して、エリア全体の歩行空間の回遊性を徐々に高めていくことにしている。

2-4 Y's House 禅昌寺12

計画地には、長期間空家となっていた築50年ほどの木造アパートが建っていた。阪神淡路大震災時に被ったダメージも大きく、敷地周りの諸条件を勘案すると、改修よりも新築の方が若い世代の入居を促しやすく、より地域に貢献できる賃貸住宅を提供できると判断して、建て替えを行った。



Y's House 禅昌寺12 外観と周囲の街並み¹¹⁾

新たに建設したのは、専有面積約50㎡の4つの家族向け賃貸住宅である。個々の住戸を分棟化することで、戸建て住宅が多い周囲の街並みに合わせている。また容積率一杯の計画とせず、住戸間に十分な隙間を空けることで、グランドレベルに適度な植栽と駐車場のためのスペースを確保している。



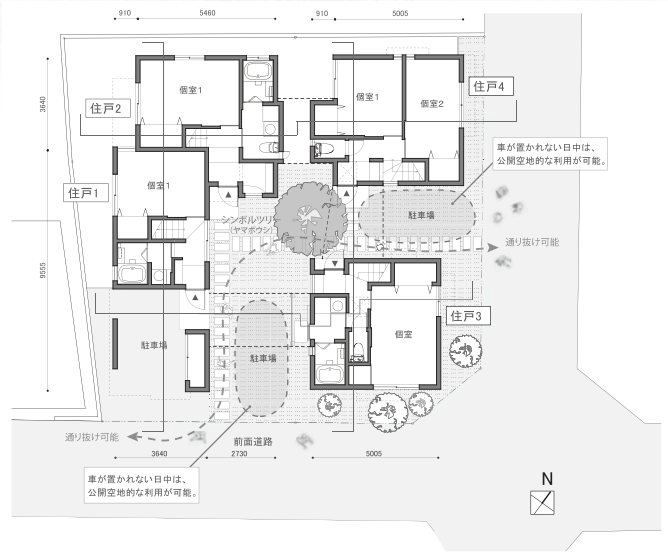
Y's House 禅昌寺12 住戸内部¹²⁾

住戸のLDKはすべて2階に配置し、共有のデッキテラスが住戸間のセミパブリックなスペースとなるように計画している。周辺住居の外観や色彩を参考に、外壁は2種類のガルバニウム鋼板と杉板張とし、地域にとけ込むデザインとした。外壁の出窓は、外観のアクセントになると同時に、夜間は街に対する行灯として、地域の安全に寄与している。

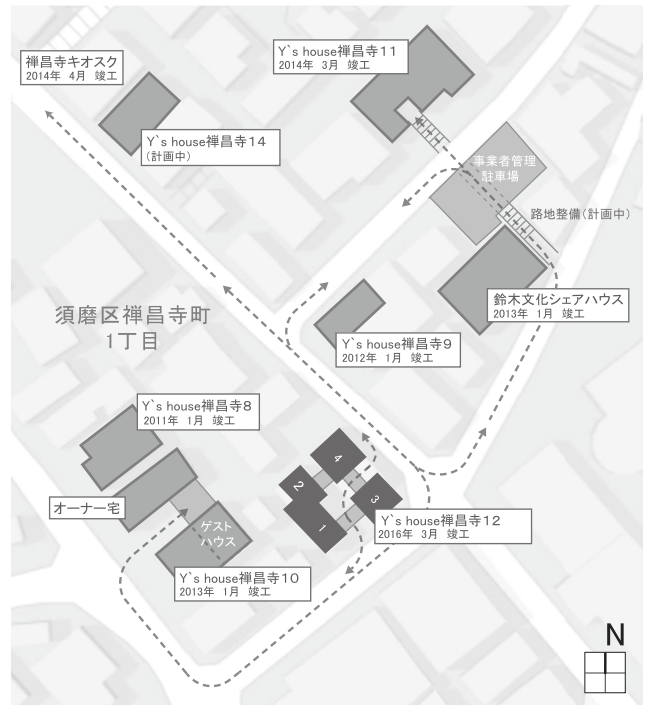


Y's House 禅昌寺12 デッキテラスからの夜景¹³⁾

4つの住戸間には、誰もが通り抜け可能な路地空間を設けている。これに隣接する駐車スペースは、日中の車が置かれぬ時間帯には公開空地のように自由に利用されることを想定している。2



Y's House 禅昌寺12 1階平面図



Y's House 禅昌寺12 周辺プロジェクト関係図

階の共有テラスも内部の床より下げることで、1階の外部空間との一体感を得やすいようにしている。

上の図は、同じ事業者による周辺プロジェクトとの位置関係を示したもので、先に紹介した「鈴木文化シェアハウス」、「Y's House 禅昌寺11」ならびに事業者であるオーナー宅などのつながりが、日常的な暮らしのネットワークを形成していることを示している。2016年12月には地区の自

治会からの依頼に応じて、オーナー所有のガレージ前の空地で餅つき大会が開催され、シェアハウスに住む学生たちも協力して近隣の人々が楽しく交流した。



周辺空地での餅つき大会の様子¹⁴⁾

2-5 禅昌寺ガレージ

プロジェクトの対象地は、この地区（禅昌寺町）の住宅地の最奥部に位置する谷間にある。周囲に建設されたアパートや戸建住宅には十分な駐車スペースを備えていないものも多いため、この場所

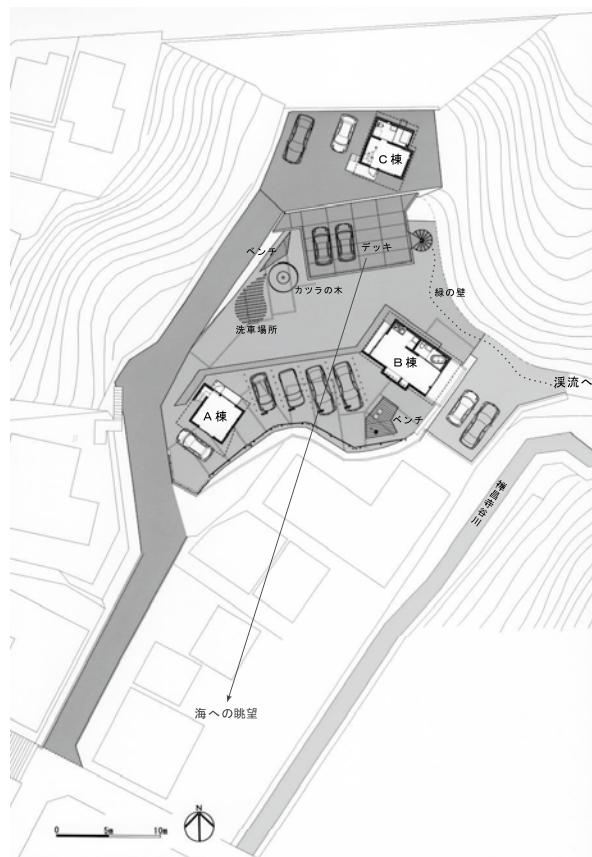


禅昌寺ガレージ 全体俯瞰写真

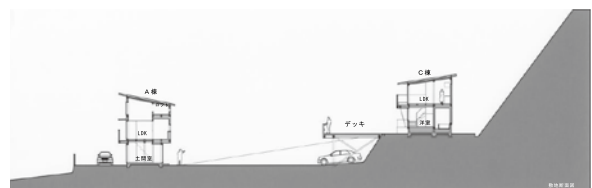
は長い間、地域の共同駐車場として利用されてきた。しかしながら、少子高齢化で車の保有台数が減少するにつれ、近年では駐車枠にも空きが目立つ状況となっていた。

改修前のがらんとした駐車場は治安面でも不安を覚えるような殺風景な場所となっており、利便性にも乏しく、単純な住宅地への用途転換では需要が見込めなかった。そこで本プロジェクトでは、緑に囲まれた谷間という自然環境と、駐車場機能を保持することによる利便性を両立させることで、新しい魅力を生み出すことに挑戦した。

具体的には、車やバイクに関心のある単身者あるいは若者世帯をターゲットとした延床面積10



禅昌寺ガレージ 配置図



禅昌寺ガレージ 断面図



禅昌寺ガレージ A棟からC棟を見る¹⁵⁾



禅昌寺ガレージ B棟夕景¹⁷⁾

坪程度の2階建住宅3棟を、既存の駐車場の中心に分散配置した。A、B、Cの3棟のうちC棟の軸を少し振っているのは、高台にあるこの住宅からの海への眺望軸を受け止めて、谷間にあるこの駐車場全体のランドスケープを、より広域的な景観軸に結びつけるための操作である。

ここでは駐車場をマイナス要素とみなすのではなく、車やバイクと共に暮らすこと可能にするオープンスペースとして積極的に活用している。入口近くのカツラの木の脇の共同洗車場とベンチ、禅昌寺川の流れが見えるB棟脇の寝転べる広さがあるベンチ、上下の駐車レベルを結ぶ旗竿付きの螺旋階段、禅昌寺川源流に至る遊歩道は、誰もが利用できる公的施設となっている。

また、元からあるアスファルト舗装、駐車枠線、



禅昌寺ガレージ 共同洗車場前の風景¹⁶⁾

車止め等は、そのまま残し、これまで長く使われてきた共同駐車場としての記憶が維持されるようにした。中央の砂利敷きラインは給排水管理設のための切削跡をそのまま表現したものである。

以上のような改変を施すことで、改修前は空き枠が目立っていた殺風景な駐車場が、夜間でも住戸の明かりに照らされ、そこに暮らす人々の気配が感じられる、楽しく安全な場所に生まれ変わった。民間の小規模な整備事業によっても、周辺の多くの人々に活用される公的な場所の創出が可能であることを示し得たのではないかと考えている。

3. まとめ

以上5つの改修・新築事例では、いずれの場合も対象の建物を単体として捉えるのではなく、それが周囲とどのような関係を取り結び、まちに対してどのような役割を果たすべきかを検討した結果にもとづいてデザインを行っている。

住宅においては、そこに暮らす人のプライベートな領域が快適な空間として確保されなくてはならないのは当然であるが、そのことだけが重視されて住まいが過剰に閉ざされ、まちと切り離されるようなことがあってはならない。建物内部と同様に、敷地内外のオープンスペース

や街路空間も、私たちの生活環境を構成する重要な空間である。

高齢化が進む中、住民どうしの顔が見える社会をつくっていくことは特に重要で、そのためにはプライベートな領域とパブリックな領域とをうまく関係付けつつ、古くなった建物の更新を進めて

いく必要がある。その際にデザインが果たす役割は大きく、様々な工夫を取り入れながら建物の更新を行い、その結果として、エリア全体を集まって住むことの価値が感じられる魅力的な空間へとつくり変えていくことが、今、求められている。

註

1) 総務省統計局による平成27年国勢調査、人口速報集計結果、ならびに「神戸創生戦略(第2版)」(平成28年3月、神戸市)における人口の現状分析より。

2) 本稿で紹介する5つの事例は、いずれも神戸を拠点として不動産業を営む大和船舶土地株式会社から神戸芸術工科大学への受託研究の一環として、協力関係にある建築事務所とのチームワークを通して取り組んだプロジェクトである。これらはいずれもグッドデザイン賞を受賞しており、それぞれのチーム構成は下記の通り。

①鈴木文化シェアハウス

(2013年度グッドデザイン賞受賞)

プロデューサー：大和船舶土地株式会社(鈴木祐一)＋有限会社ランドサット(安田利宏)／ディレクターおよびデザイナー：神戸芸術工科大学神撫町・禅昌寺町プロジェクトチーム(川北健雄、花田佳明、金子晋也、金野千恵)＋KONNO

②禅昌寺キオスク

(2014年度グッドデザイン賞受賞)

プロデューサー：大和船舶土地株式会社(鈴木祐一)／ディレクターおよびデザイナー：神戸芸術工科大学神撫町・禅昌寺町プロジェクトチーム(川北健雄、花田佳明、小菅瑠香、中村卓)＋有限会社ランドサット(安田利宏)

③Y's House 禅昌寺11

(2014年度グッドデザイン賞受賞)

プロデューサー：大和船舶土地株式会社(鈴木祐一)＋神戸芸術工科大学神撫町・禅昌寺町プロジェクトチーム(川北健雄・花田佳明)／ディレクターおよびデザイナー：設計組織アルキメラ(山田宰)＋有限会社ランドサット(安田利宏)

④Y's House 禅昌寺12

(2016年度グッドデザイン賞受賞)

プロデューサー：大和船舶土地株式会社(鈴木祐一)／ディレクター：神戸芸術工科大学プロジェクトチーム(川北健雄、花田佳明)＋有限会社ランドサット(安田利宏)／デザイナー：有限会社ランドサット(安田利宏)

⑤禅昌寺ガレージ

(2016年度グッドデザイン賞受賞)

プロデューサー：大和船舶土地株式会社(鈴木祐一)／ディレクター：神戸芸術工科大学プロジェクトチーム(花田佳明、川北健雄、中村卓)＋設計組織アルキメラ(山田宰)／デザイナー：設計組織アルキメラ(山田宰、大穂順子)

3) GoogleEarthの画像(画像取得日2016/5/2)を加工して作成。

4) 上の写真、撮影：多田ユウコ。

5), 15), 17) 撮影：多田ユウコ。

6) 左上・右上・左下の写真、撮影：多田ユウコ。

7) 左上と右の写真、撮影：西澤智和。

8), 9), 10) 撮影：西澤智和。

11), 12), 13) 撮影：山田圭司郎。

14) 撮影：鈴木祐一。

16) 撮影：瀬光真莉子。

事業報告(定時総会・講習会・研修見学会)

・新年互礼会

日 時：平成28年1月8日(金)



・神戸支部広報誌アプローチ45号発行

日 時：平成28年1月30日(土)

・第33回親睦ボウリング大会

日 時：平成28年2月6日(土)

場 所：ラウンドワン三宮駅前店

参加者：25名



・マンション管理組合向けセミナー

災害(地震)への備え

日 時：平成28年2月13日(土)

場 所：すまいるネットセミナールーム

・第191回KJ会(ゴルフ同好会)開催

日 時：平成28年2月25日

場 所：城山ゴルフ

・なだ桜まつり 事務所キャンペーン

日 時：平成28年4月2日(土)

場 所：都賀川公園内

・平成27年度第2回役員総会

日 時：平成28年4月7日(木)

場 所：ホテルモントレ神戸



・第57回定時総会・懇親会・賛助会第24回総会・

懇親会

日 時：平成28年4月28日(木)

場 所：ホテルモントレ神戸



事業報告(定時総会・講習会・研修見学会)

・第4回トレッキング

日 時：平成28年4月30日(土)
場 所：塩屋駅～須磨アルプス～妙法寺駅
参加者：24名



・第192回K J会(ゴルフ同好会)開催

日 時：平成28年5月12日(木)
場 所：関西クラシックゴルフ倶楽部

・第1回幹事会・役員総会

日 時：平成28年6月10日(金)
場 所：ホテルモントレ神戸

・第47回KM会(麻雀同好会)開催



日 時：平成28年6月25日(土)
場 所：三ノ宮平和荘
参加者：8名

・第1回法規講習会

日 時：平成28年7月21日(木)
場 所：兵庫県私学会館
参加者：事務所協会神戸支部26名
建築士会54名、会員外3名

・平成28年度神戸市すまいの耐震キャンペーン オープニングイベント

日 時：平成28年9月1日(木)
場 所：さんちか夢広場

・第193回K J会(ゴルフ同好会)開催

日 時：平成28年9月10日(土)
場 所：やしろ東条ゴルフクラブ
参加者：10名

・日帰り研修会

日 時：平成28年9月21日(水)
場 所：淀川製鋼所大阪工場&ヨドコウ迎賓館
参加者：21名



・第5回トレッキング

日 時：平成28年10月2日(日)
場 所：妙法寺駅～高取山～菊水山
参加者：18名



・灘ふれあい秋まつり 事務所キャンペーン

日 時：平成28年10月8日（土）

場 所：都賀川公園・灘区民センター



・一泊研修旅行

日 時：平成28年10月28日（金）～29日（土）

場 所：愛媛／しまなみ海道、今治みなと交流センター

参加者：21名



・第48回KM会（麻雀同好会）開催

日 時：平成28年11月5日

・建築士事務所キャンペーン

日 時：平成28年11月12日（土）

場 所：須磨区飛松町 板宿本通商店街内



・第194回KJ会（ゴルフ同好会）開催

日 時：平成28年12月7日（水）

場 所：東条の森GC東条コース

参加者：10名



平成28年度 第1回法規講習会レポート

黒田建築設計事務所 浜田 洋光

- 日 時：平成28年7月21日（木） 13：30～16：45
- 場 所：兵庫県私学会館 302・303号室（神戸市中央区北長狭通4丁目3-13）
- 講習内容：①「神戸市建築物の安全性の確保等に関する条例等の改正について」
②「建築基準法関連告示等の改正について」
③「神戸市耐震改修促進計画 [2016-2020] について」
④「建築物省エネ法について」
⑤「人と自然との共生ゾーンの指定等に関する条例の改正等について」
⑥「都心三宮の再整備について」
⑦「消防法関係の最近の動向について」
- 出席者：事務所協会神戸支部26名、建築士会54名、会員外3名

講習会の様子



神戸支部一泊研修旅行 in 今治みなと再生PJとしまなみ海道

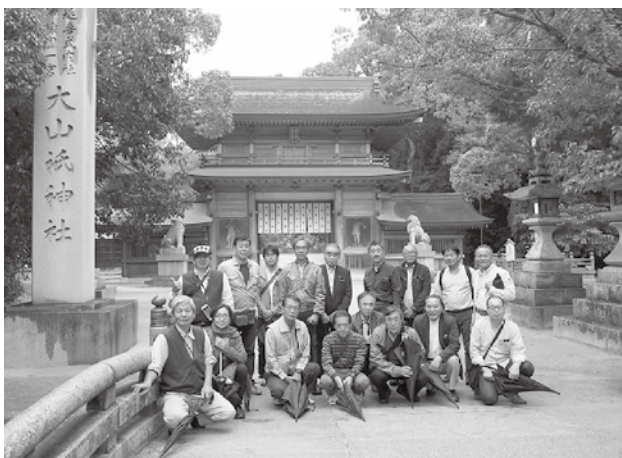
三和シャッター工業(株) 三原 芳之

- 日 時：平成28年10月28日(金)～29日(土)
- 場 所：愛媛/しまなみ海道、今治みなと交流センター
- 参加者：21名

10月28日(金) 8:00一行21名はバスで曇天の神戸を出発。歴史と文化にあふれる島々を結ぶ海の道「しまなみ海道」を巡る一泊二日の研修旅行がスタートした。

【島々を巡り歴史とモダンアートにふれる】

山陽道から尾道を経て島から島へと渡るダイナミックな景色を楽しみながら11:45しまなみ海道の真ん中あたり広島県生口島の「瀬戸田すいぐん丸」で昼食。ここのたこ飯は絶品。だがこの島の最大のウリはレモン。昭和2年から栽培を始めた国産レモンの発祥地で現在でも生産量は日本一。お土産もレモン関係が豊富だ。13:00大三島に上陸。大山祇(おおやまずみ)神社は全国の山祇神社、三島神社の総本社。愛媛では有名なパワースポットである。境内中央には樹齢約2,600年の神木である天然記念物の大楠が鎮座している。2,600年前といえばお釈迦様が生まれになった頃。気が遠くなるほど遠い昔である。14:00向かい合う大きな顔が出迎えてくれる。「ところミュージアム大三島」に到着。自然を身近に感じながら展示作品を鑑賞し心地よいモダンアートの魅力に浸る。ところミュージアムから歩いて行けるほどの近くに妙な建物が…。伊東豊雄建築ミュージアム。この多面体が結晶のように連結した建物は設計するのも建てるのも大変だったであろう。



【海賊の島へ】

16:00大島村上水軍博物館に到着。村上水軍は航行する船を襲って積荷を奪うという野蛮な行為をやめる代わりに商船などを他の海賊から守るという名目で「帆別銭」として船の積荷の10%の通行料を徴収した。最盛期には石高15万石で動員兵数は10,000人だったそうで勢力範囲も九州から淡路島までと広範囲にお



活動報告

よんでいたことも驚きだった。戦国時代にはここでも熾烈な戦いが繰り広げられていたのだなあとは今は穏やかな瀬戸内の海を眺める。

【海の幸を堪能する】

17:00今治アーバンホテルに到着。夕食は海峡料理「伊豫水軍」。村上水軍にちなんでつけられた店名である。海の幸満載の料理の中で「タモリ」の煮付けを味わうことができた。スズキ目イサキ科の魚で愛媛では「タモリ」とか「セトダイ」と呼び漁獲量は少なく一般にはほとんど知られておらず何故か瀬戸内でしか獲れない珍魚である。この魚が鎧を着た武士のように勇ましく見えることから壇ノ浦の戦いで瀬戸内に散った平家の武将平知盛(たいらのとももり)の生まれ変わりとして「トモモリ」と呼ばれていたのが「タモリ」に訛ってしまったらしい。



夕食後ホテルに戻り街を散策するがまだ夜の8時半頃それも金曜日というのにネオンが寂しい。大丸百貨店跡の広大なスペースが街の暗さを殊更に増幅している。飲み屋街にハロウィンの仮装のつもりであろうか動物の着ぐるみを着た妙齢の女性二人が行んでいるのだがまわりの暗さに掻き消されてしまいそうである。往時は賑わっていたであろうこの界限も今は寂しい。

【丹下健三の故郷】

10月29日(土) 8:40ホテルを出発し今治市役所に到着。戦後日本を代表する世界的な建築家丹下健三の故郷今治には今も数多くの「丹下建築」が残っている。1958年(昭和33年)竣工の今治市庁舎本館。同じ敷地内にある市庁舎別館、公会堂、市民会館も丹下健三の設計。「今治港から広小路、国道317号線、今治駅を結ぶ要所に密集して建てられたこれらの施設群は、まさに今治の中心となっておりこれが都市設計も研究していた丹下健三らしい配置なのかもしれません。2011年に取り壊しか、保存かで論争が起きた鉄筋コンクリート造のホール。保存を求める声各所からあがったことで外観をそのままに大規模な改修工事が



おこなわれました。」と休日出勤していただいた市職員の方の説明を聞く。「薨の波」に浮かぶ船をイメージして設計されたという1960年竣工の旧今治信用金庫本店。今は周囲にビルが並んでおり、ひっそりと佇んでいるが建設された当時は瓦屋根の家々の中であって一際目立つ建造物だっただろう。

【大型船のような「はーぱりー」】

9：20今年7月30日にオープンした今治みなと交流センター「はーぱりー」に到着。大型船を思わせるダイナミックなフォルムが印象的。「海を見渡すまちをつくろう」がコンセプトだけに甲板にあたる2階テラスからの眺めは最高。JR京都駅や梅田スカイビルを設計した原広司さんの設計。はーぱりーとは対照的に向かいの商店街はシャッター通り化しており閑散とした雰囲気である。この「はーぱりー」を核に商店街が活性化しました元気を取り戻してほしいと思う。



【タオルアートの館】

11：30今治タオル美術館ICHIROに着く。ここは今治名産のタオルとアートが融合した空間で館内全部が色鮮やかなタオル類で埋め尽くされている。なぜかムーミン谷の仲間たちが展示の主体となっている。食品等のお土産も充実している。工場見学的なゾーンもありタオルの製造工程が良くわかった。ただ、お土産に買おうとしたムーミンのタオルがMADE IN CHINAなのが残念だった。



【鯛めしと伯方の塩ソフトクリーム】

13：00伯方島「マリンオアシスはかた」で昼食。ここの鯛めしも◎。伯方の塩ソフトクリームは△。当たり前だが後味がやはり塩だった。今回は、天気にはあまり恵まれなかったが「自称曇り女のバスガイドさん」のおかげでほとんど傘のお世話になる事も無くあちこち見学して廻れた。歴史・建築・アート・グルメと盛りだくさんな内容でほんとうに充実した二日間だった。この企画にご尽力していただいた方々に心より感謝。ただひとつの心残りは「せんざんき」なる正体不明の今治名物が食べられなかったことである。



日帰り研修「(株)淀川製鋼所大阪工場見学とヨドコウ迎賓館見学」

広報部 寶谷 勝馬

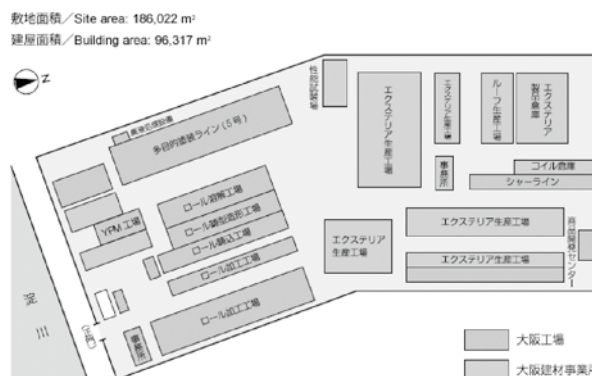
- 日 時：平成28年9月21日(水)
- 場 所：淀川製鋼所大阪工場&ヨドコウ迎賓館
- 参加者：21名

■9月21日8時30分 JR神戸駅 曇り(時々小雨)

昨年同様に神戸駅南バス駐車場に集合し、8時35分に出発。高速道路は順調に予定通り9時45分に淀川製鋼所大阪工場に到着。



JR神戸駅南駐車場出発前



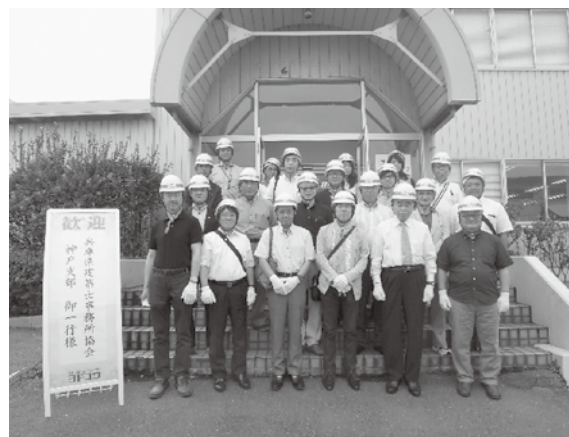
淀川製鋼所大阪工場

淀川製鋼所大阪工場は、生産品目として塗装溶融亜鉛めっき鋼板、塗装ガルバリウム鋼板の鋼板、物置、カーポート等のエクステリア、屋根材、壁材の建材それにロール事業として鉄鋼用ロール、製紙用ロール、ゴム・ビニール用ロールを生産製作している工場です。

大阪工場長よりご挨拶があり、その後所員より工場の概要等、ビデオにより説明があり、特に自社製品の特長・開発された経緯、内容の説明があり質疑応答では1935年創業の自信からか、自信に満ちた姿が印象に残った。



淀川製鋼所大阪工場説明会



見学会全員写真ヘルメットに軍手“さすが”

説明会場を後にして工場見学を、特にルーフ生産工場を見学し、カラー鋼板に断熱材を貼り付ける工程、ロールフォーミング、切断等を視察した。

成型ヤードルーフ生産工場では関西空港のルーフの製作施工等の苦労話を織り交ぜながら説明があった。その後、建材性能試験場の案内を受けた。そこには防耐火性能装置、水密耐風圧試験装置等が設置され、それらの性能、試験内容、活用について説明を受け、私たちの質疑に対し詳しく的確に回答して頂き淀川製鋼所大阪工場のスタッフの方々には感謝します。

説明会場での昼食後、12時50分、つぎの目的である芦屋のフランク・ロイド・ライトのヨドコウ迎賓館へ出発した。

ヨドコウ迎賓館では2階の応接室において館長による建設の成り立ち、特に設計者フランク・ロイド・ライトが携わった経緯、迎賓館の沿革、建物の特長、見所等の説明があり、みなさんは特長、見所を中心に、大谷石の彫刻、マホガニーをふんだんに使った造作等、また改修後の天井、壁の塗装工事の評価等みなさん雑談や意見をしながら見学され非常に有意義に過ごされた。



館長より説明を聞く



説明後見学に入る



見学 玄関回り



見学 屋上

15時45分三宮に到着、昨日の台風16号が近畿地方に接近しましたが、当日は晴れ間が覗くような天気、今日1日スタッフの皆さんにはお世話になりご苦勞掛け有り難うございました。

第33回親睦ボウリング大会

平成28年2月6日(土)



●個人総合の部

優勝	平川 宏之 (有竹久建築設計事務所)
準優勝	村上 昌考 (創企株)
第3位	平川 達也 (創企株)

●個人女子の部

優勝	福富 瑠依 (株盤設計)
準優勝	宮本又規子 (創企株)
第3位	富永 紘子 (創企株)

●12歳以下1位… 福富 緒乙

参加者名簿及び組み合わせ表

レシ	事務所・会社名	氏名	レシ	事務所・会社名	氏名
29		福富 緒乙	34	アトリエsae	前田 さえ
30	(株)盤設計	中島 哲		(株)アーキノヴァ設計工房	柏本 保
		福富 直子			尾添 泰弘
		福富 潤一			庄本 健人
31	文化シャッター(株)	福富 瑠依	35	創企株	平川 雅勝
		渡辺 友資			平川 明宣
		上家 正之			有本 健吾
32	横木 貴英	36	創企株	平川 達也	
	文化シャッター(株)			谷向 康裕	肥田木義信
	朝日共同設計(有)			高田 昌之	村上 昌考
	有竹久建築設計事務所			平川 宏之	宮本又規子
33	(株)北村鉄工所	太田 慧一	37		小谷 望
					富永 紘子

同好会だより

●KJ会 (ゴルフ同好会) 【会長：為金清人 幹事：水野政博、八木啓祐】

ゴルフ同好会は、雨にも負けず風にも負けず、楽しくコンペを行っています。ゴルフを始められた方、久しぶりにプレーしたい方、新しく入会された方々も、ご連絡をお待ちしております。

第171回より新世話人により運営をおこなっています。引継ぎ宜しくお願いします。

◆第191回 H28.2.25 (城山ゴルフ)
..... (参加者12名)

優勝	2位	3位
赤澤 伸一	走出 雄三	和田 光男

◆第193回 H28.9.10 (やしろ東条ゴルフクラブ)
..... (参加者10名)

優勝	2位	3位
浜村 弘美	竹中 郁雄	水野 政博

◆第192回 H28.5.12 (関西クラシックゴルフ倶楽部)
..... (参加者9名)

優勝	2位	3位
澤田 恒男	八木 啓祐	柏本 保

◆第194回 H28.12.7 (東条の森 東条 大蔵)
..... (参加者10名)

優勝	2位	3位
今田 貴光	走出 雄三	浜村 弘美



●KM会 (麻雀同好会)

【幹事：前田進一】

麻雀同好会は娯楽を目的に楽しく開催されており、久しぶりに麻雀される方が多数ですので麻雀の初心者などもご遠慮なく参加してください。

◆第47回 H28.6.25開催..... 参加人数8名

優勝	準優勝
前田 進一	植松 寛

◆第48回 H28.11.5開催..... 参加人数8名

優勝	準優勝
角村 和良	屋 典秀



同好会だより

●トレッキング同好会【会長：柏本 保 幹事：前田 信行】

◆第4回 H28.4.30・・・・・・（参加者24名）

六甲山系の西（塩屋）から東の端（宝塚）まで50数キロの六甲全山縦走大会走路をシリーズ4回（予定）に分けて踏破します。第1回目は塩屋駅から須磨アルプス馬の背を経由し地下鉄妙法寺駅までです。自然観察をしながら日頃の運動不足やストレスを解消しませんか？会員同士の情報交換や親睦も深めて頂きたいとも願っております。また、この会への入会手続きは特にありません。家族、社員の参加也大歓迎です。多数の参加をお待ちしております。

行程概略

集合場所・時間／山陽電鉄 塩屋駅集合／9：30（時間厳守）

予定工程／9：30山陽電鉄 塩屋駅集合⇒10：20旗振山⇒11：30柵尾山にて昼食 12：30⇒須磨アルプス
⇒13：10東山⇒14：00神戸市営地下鉄妙法寺駅にて自由解散 約12km（一般向き）

第4回トレッキング同好会参加者名簿

（順不同・敬称略）

番号	事務所・会社名	出席者名	番号	事務所・会社名	出席者名
1	前田信行一級建築士事務所	前田 信行	13	同上	大西 眞弓
2	(株)アーキノヴァ設計工房	柏本 保	14	同上	佐藤 裕二
3	徹建築設計事務所	岡田 徹	15	一般	志水 保次
4	三和シャッター工業(株)	三原 芳之	16	APEX設計(阪神支部)	渥美 充弘
5	LARC建築事務所	山本耕一郎	17	丸正建設(株)	森脇 匠一
6	大創建設工業(株)	浅井 嗣也	18	同上	森脇 倫子
7	同上	藤井 利実	19	同上	森脇 旬仁
8	同上	奥村 修一	20	(株)アルファ工房(姫路支部)	田口 俊治
9	ムツミ商事(株)(姫路支部)	島津 秀伸	21	(有)アトリエフォルム(加古川支部)	吉田 文男
10	大和技研(株)(阪神支部)	松本千恵子	22	同上	吉田 珠江
11	同上	井出 立也	23	菱電エレベーター施設	野村 幸治
12	同上	明利 定	24	一般	藤田 由子



馬の背にて



柵尾山への急階段



馬の背にて



柵尾山にて

トレッキング
ルート



旗振山にて



旗振山から明石方面を望む

同好会だより

◆第5回 H28.10.2・・・・・・・・・・(参加者18名)

今年4月に第1回目を終え第2回目は妙法寺駅から高取山～菊水山までの約10kmを歩きました。

行程概略

集合場所・時間／神戸市営地下鉄妙法寺駅集合／8：30(時間厳守)

予定工程／8：30神戸市営地下鉄妙法寺駅集合⇒10：30高取山⇒11：30神戸電鉄鶴越駅
⇒13：30菊水山にて昼食⇒14：00自由解散

第5回トレッキング同好会参加者名簿

(順不同・敬称略)

番号	事務所・会社名	出席者名	番号	事務所・会社名	出席者名
1	前田信行一級建築士事務所	前田 信行	10	大和技研(株)(阪神支部)	井出 立也
2	(株)アーキノヴァ設計工房	柏本 保	11	同上	明利 定
3	徹建築設計事務所	岡田 徹	12	同上	大西 眞弓
4	三和シャッター工業(株)	三原 芳之	13	同上	佐藤 裕二
5	(株)フジワラ	延原 利明	14	同上	阪上 眞行
6	(有)未来工房	小村 敏夫	15	同上	山口 正造
7	菱電エレベーター施設(株)	野村 幸治	16	(株)アルファ工房(姫路支部)	田口 俊治
8	ムツミ商事(株)(姫路支部)	島津 秀伸	17		三宅 尚美
9	大和技研(株)(阪神支部)	松本千恵子	18		岩本 美幸



いざ出発



菊水山への花畑



高取山まで一服

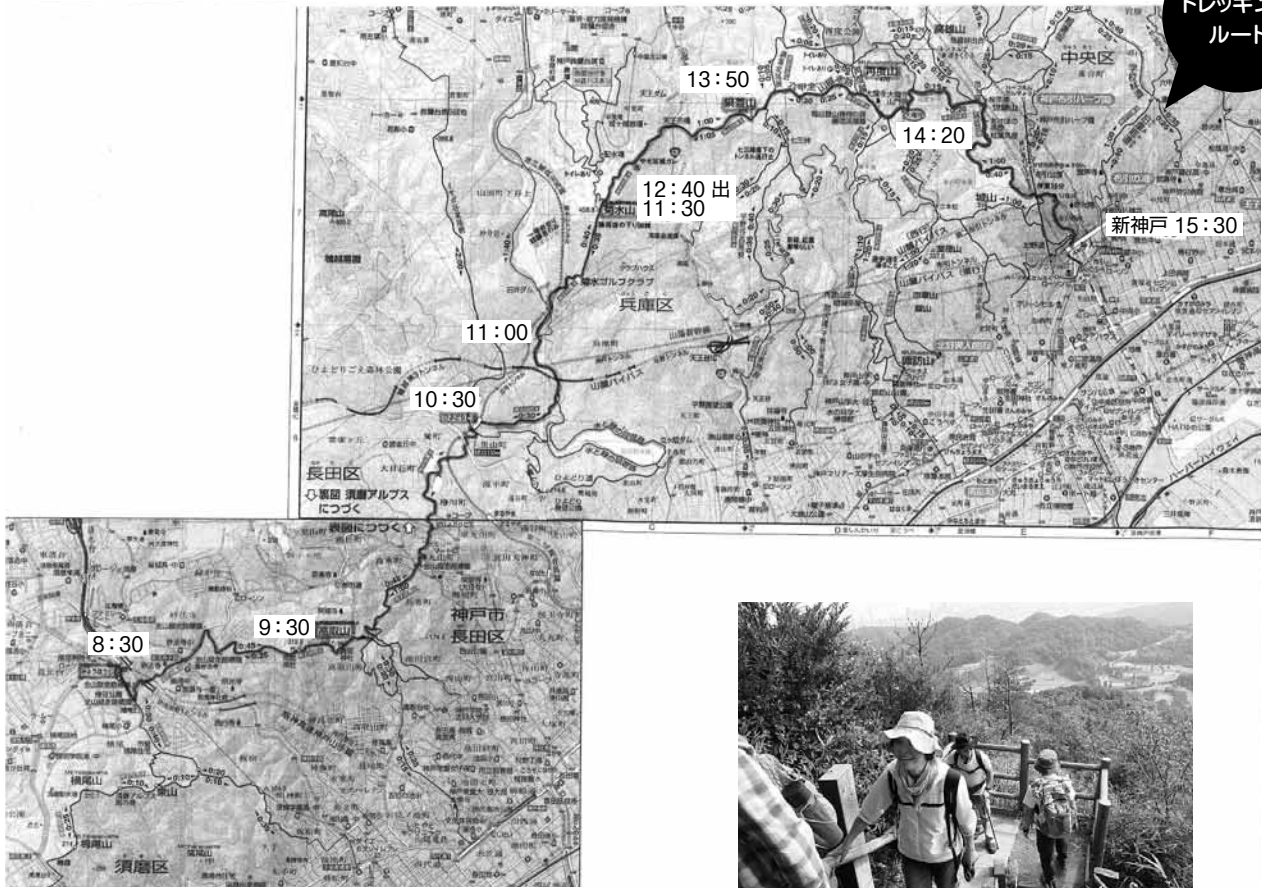


高取山へ



天王吊り橋にて

トレッキング
ルート



菊水山山頂付近の急な上り阪



菊水山山頂にて

神戸支部トレッキング同好会に参加して

大和技研株式会社 松本 千恵子

今回より足掛け2年、4回に渡る「六甲全山縦走路全制覇計画」の第1回目は山陽電鉄塩屋駅を出発し神戸市営地下鉄妙法寺駅までの約12kmのコースです。弊社からは社長を筆頭に5名でトレッキングに初挑戦！当日は春の名残、初夏の訪れを感じさせられる晴天に恵まれ老若男女（笑）23名で9：00出発。

塩屋駅前の住宅地を通り、いざ第一の関門旗振山へ！…しかし舗装された急斜面は意外ときつい！既に一行は縦長の陣



須磨浦山上 集合写真



須磨浦山上よりの風景

形に。早くも励まし合い

ながら旗振山登山道に到着、ようやく登山らしい道を進みます。出発して45分後ようやく見えてきました須磨浦山上遊園噴水ランド！晴天の土曜日なので家族連れで賑わっています。楽しそうな子供たちの笑顔に癒されながら5分後山頂に到着。そこから見える絶景に疲れを忘れ終始笑顔の一行、ここで記念写真を1枚…パチリ！どうですか？みんないい顔しているでしょう。

ここから鉄拐山～おらが茶屋まで比較的緩やかな高低差の道を進みます。絶景もさることながらヤマツツジが見事に咲き誇り我々の目を楽しませてくれました。

おらが茶屋から梅尾山へは急階段を下り高倉台の街を通り山道へ戻ります。しかしここで待ち受けていたのが見上げるほどの階段！踊場



鉄拐山～おらが茶屋



梅尾山階段

毎に休憩を取りながら約400段を上りようやく11：30鉄拐山頂へ到着。ここで昼食タイム、塩が効いたおにぎりが最高でした。

鉄拐山から横尾山～東山へと進む途中に今回最大のポイント「馬の背」があります。

その名の通り馬の背中の如く狭い岩肌の道を歩きます。細心の注意を払いながらスリルを十分に満喫しましたが足元に注意が行き過ぎて

景色を見れなかったことが非常に悔やまれます。

13：10、東山に到着。ここからは緩やかな下り坂が続き、トレッキング初心者の方々が各々山中で手に入れた天然のストックを山にお返しし、様々な思い出を振り返りながらゴール地点の妙法寺駅を目指します。横尾団地を通り抜けていると次回の六甲全山縦走路の道標があり、



馬の背

今回のスタート地点を横目に見ながら14：00妙法寺駅に到着。
達成感とすがすがしさで道中の苦難も忘れみんな笑顔。
次回に胸を躍らせながら妙法寺駅を後にしました。

その後は…三宮でビアホール！汗を流した後のビールは格別に
うまい！

折角トレッキングで消費したカロリーが……と気にする人もな
く冷たいビールに喉を鳴らす一行でした。



妙法寺駅ゴール

第2回目は10月2日、妙法寺駅から高取山～菊水山～鍋蓋山～新神戸駅の約15kmのコースです。初トレッキングの爽快感と心地よい筋肉痛、ビールの美味しさが忘れられず、弊社からは7名での参加となりました（18名参加）。今秋次々と日本を襲う台風の影響で連日の悪天候の中、メンバーの日頃の行いが良いのかこの日は秋晴れの晴天に恵まれ前回のゴール地点妙法寺駅を8：30に出発。しばらくは緩やかな下り坂や下り階段が多く足取りも会話も軽やかに高取山に向かいます。途中、市営地下鉄の高架下をくぐり少し歩くと妙法寺があります。妙法寺を横目に見ながら市街地を歩きます。徐々に上り坂の勾配もきつくなり、ここであることに気が付きました。下った分だけ登らないといけないことを…

市街地を抜けるといよいよ高取山登山道に突入です。襲い掛かる急勾配、急階段、険しい山肌、昨日までの雨でぬかるんだ山道…それ以上に湿度が高く、とめどなく流れる汗が体力を容赦なく奪います。先頭と最後方は既に携帯電話で確認を取合いながらようやく山頂へ、最後の階段を上ると山頂の高取神社に到着。この時既に予定より40分遅れ、早々絶景を拝み足早に高取神社を後にします。階段を下ると整備された道が続き山頂のお茶屋さんの前を通ると小さい広場とトイレがあります。ここで全員が合流しトイレの裏にある登山道を通り下山。緩やかな下り階段を進み住宅街へ、住宅街をしばらく進むと神戸電鉄鶴越駅に到着。鶴越駅の横道を通って緩やかな山道を抜けると舗装された川沿いの道に出ます。溪流の美しさに目を奪われながら先を急ぐと前方に下水処理場が見えてくる。下水処理場を迂回するといよいよ菊水山への長く急な階段が…

どこまでも続く階段…一段一段が高く膝がきしむ…ツライ！階段が壁に見えてくる。壁をよじ登るような感覚で山頂を目指し歩くこと数十分、ようやく森林が開けて山頂の電波塔が目に入ると山頂広場に到着、ここで昼食ですがあまりの過酷さに何を食べたのかも覚えていない（笑）



菊水山

ここで一行にある決断を迫られていました。ここまでで途中リタイア者も数名、このままのペースで歩くと鍋蓋山の山中で日が落ちてしまう…話し合いの結果、ここでリタイアし鈴蘭台駅へ向かうグループと鍋蓋山へ向かうグループに分かれ菊水山を下山。



菊水山階段

当然ながら体力のない私たちは鈴蘭台駅へ向かうグループに入りリベンジを誓いつつ菊水山を後にしました。

帰りの電車の中は過酷な状況からの解放された安堵感、疲労から爆睡でした（笑）

弊社では体力のなさにリタイアした悔しさから、次回のトレッキングでは必ず制覇できるよう個々にトレーニングを始めています。

●神戸市すまいとまちの安心支援センター共催事業●

第20回 灘ふれあい秋まつり

日時：平成28年10月8日(土) 10:00~15:00

場所：都賀川公園・灘区民センター(神戸市灘区神ノ木通4丁目・千旦通4丁目)

灘区地区別連絡協議会 成瀬 秀一

昨日の天気予報では雨の予報であったが、日頃の行ないのせいか予想を裏切り、晴天になった。すまいるネットのアンケートを取る際に、立ち話ではあるが2件の相談があった。

1件目は、耐震診断の相談で、竣工年月が不明だったので、竣工年月がわかるものを見つけ該当すればすまいるネットにご足労いただくように伝えた。

2件目は、介護保険を利用しないバリアフリーの相談があった。すまいるネット担当者より、すまいるネットでのバリアフリーの助成事業は予算を使い切り9月に終了したこと。来年度も助成事業が再開することになれば、4月の受付となるので、4月頃にすまいるネットに問い合わせさせて頂くようにと説明して頂いた。

年に数回、市民に向けて事務所キャンペーンを開催しているが、建築士向けだけではなく、一般

に向けても事務所協会を認知し会員を活用してもらえらるような、仕事につながる為のチラシの作成と、チラシを受け取って頂けるグッズが必要であると思う。



開催あいさつ 遠藤灘区長



会場風景



会場風景



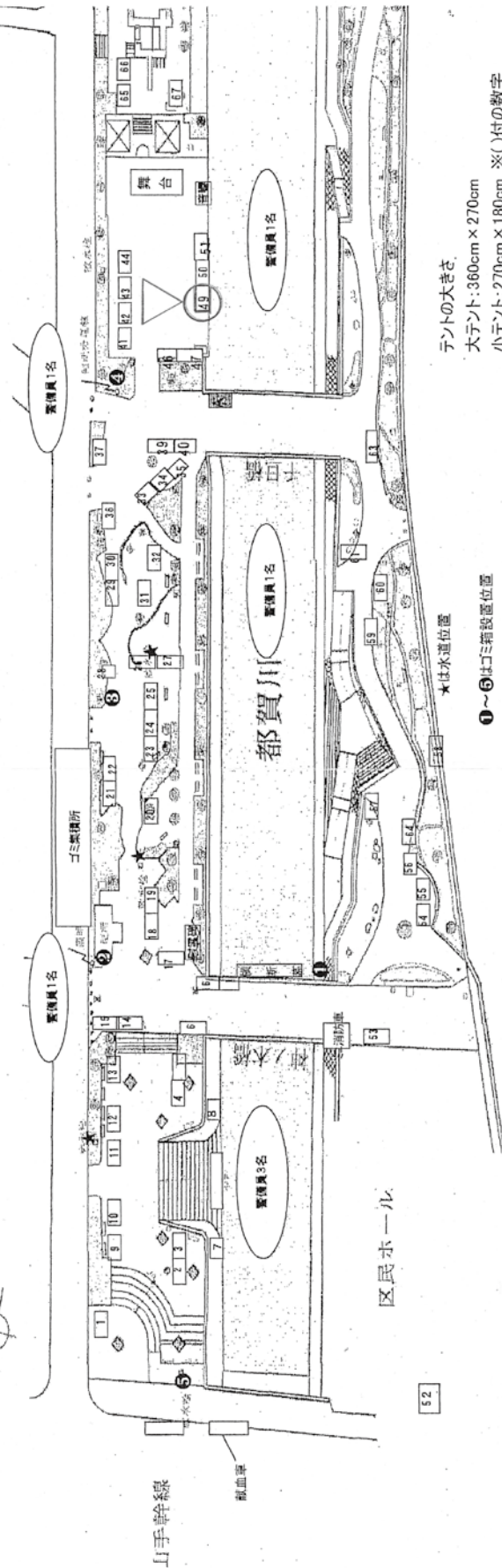
会場風景



会場風景



会場風景



テントの大きさ

大テント:360cm×270cm

小テント:270cm×180cm ※()付の数字

①～⑤はゴミ箱設置位置

★は水道位置

団体PR・啓発ブース ※は初参加団体

テントNo	団体・グループ・業者名
1	交通安全協会 一般社団法人 神自乗用自動車協会
2, 3	神戸ライオンズクラブ
4	公益社団法人 神納税協会 神納税野鳥組合連合会
(45)(47)	近畿理士会 神支部
(48)(49)	神戸市環境局 神支部
(50)	神戸市すまいとまちの安心支援センター 神支部
59,60(61)	(一社)兵庫県建築士事務所協会 神戸支部
北ステージ(パフォーミング)	都賀川を守る会
テントNo	団体・グループ・業者名
7, 8	兵庫県自動車整備協会の会 神戸東支部
飲食模擬店ブース	
テントNo	団体・グループ・業者名
6	神中央地区民生定食調理委員会
9A	五毛婦人会
9B	上野婦人会

飲食模擬店ブース

テントNo	団体・グループ・業者名
10A	藤原上婦人会
10B	神中央婦人会
11A	神聖婦人会
12A	原田婦人会
12B	なごき婦人会
13B	都婦人会
(14)(15)	神区徳田医師会
17	生活協同組合コープこうべ コープ六甲
18,19	神戸東生会
20	神区自治会連絡協議会
21	神戸市手をつなぐ育成会神支部
22	神区鉄骨業者協議会
23	特定非営利活動法人マブイ六甲 未来をひらくマブイ六甲
(24)	(社)神木の身体福祉会 六甲俱樂部
25	神子ヤマト実行委員会
26,27	サポートステーション 神つどいの家、いせいエイト

子どもの遊びブース

テントNo	団体・グループ・業者名
29	KOBE在宅7・ボランティアグループ ほほえみ講座
(30)	神区魅力言語障害者福祉協会 神支部
31(32)	神区老人クラブ連合会
(33)(34)	神区子ども会連合会
36	西灘こどもと菜しみ隊
54	神区児童館
55	神区公民館
(56)	神戸市発達障害者支援センター 神支部
(57)	神区共同基金委員会
(64)	神戸海女子学院大学
(58)	神区青年保護女性会
(37)	KOBEISM
パザールブース	
テントNo	団体・グループ・業者名
(16)	神区連合婦人会
(28)	つどいグループひまわり
(35)	グループホーム六甲 ほほえみクラブ

パザールブース

テントNo	団体・グループ・業者名
(38)	さきりサークル士の会
(40)	社会福祉法人 たしあば
(41)	神防婦人会
(42)	八幡婦人会
(43)	上河原婦人会
(44)	高羽婦人会
68	『つどいがら』日本！神戸大学生 + KOBEISM
その他	
テントNo	団体・グループ・業者名
(51)	本部
52	兵庫県赤十字血液センター
53	消防防団
65,66,67	ステージ出演者テント

● 建築士による住宅無料相談会 ●

平成28年度 建築士事務所キャンペーンを終えて

日時：平成28年11月12日(土) 11:00~17:00

場所：須磨区飛松町 板宿本通商店街内

副支部長 藤澤利行

平成28年11月12日(土)、会場は、今年も「板宿商店街」の一画である、板宿本通商店街で、板宿本通商店街振興組合のご協力を得て、建築士事務所キャンペーンを開催いたしました。今回は、悪徳リフォームの撲滅の為の啓蒙活動に兵庫県警察本部がキャラクターの「こうへいくん」を連れて参加してくれました。それと、神戸市すまいとまちの安心支援センターさんが今年、ブースを設けて、恒例のゲームを大会を開催していただきました。



前日の夕方には、多くの会員・賛助会の方々にお手伝いをいただきました。お忙しい中、どうもありがとうございました。

当日は、朝から暑くも寒くもなく、天候に恵まれました。神戸市・神戸市住まいの安心支援センター・板宿商業連合会の後援を頂き、「安全・安心なすまいをもう一度見直しませんか？」をテーマに、マンションの大規模修繕工事、住まいの耐震補強・省エネ関連・バリアフリー・リフォーム・シックハウス・空き家対策等建築全般に関する相談会(無料)とパネル展示、会員作品展を行い建築士の必要性を啓蒙し、今一度、建築士によ

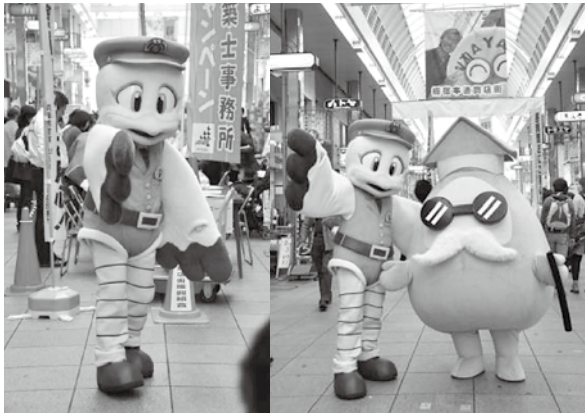
る「建築設計・工事監理」がいかに大切かを市民の皆様理解していただき、建築士を身近に感じてもらいたく開催いたしました。

会場は、商店街のアーケードの下の道路上で支部会員の建築作品パネル、欠陥住宅のパネル、各種パンフレット等々を展示、配布をし、昨年も好評でした写真フレームの製作を建築相談・アンケート記入等の子供たちの待ち時間と利用して、賛助会員の方々の協力を頂き開催し、たくさんの皆様に立ち寄って頂きました。



オキールファミリーのグッズや賛助会員の方々から協賛いただきましたグッズも配布できました。





今回も、オキールファミリーの博士以外の着ぐるみとも共演でき、子供たちや若い女性の方々は大喜びで、知名度が多少は上がったかなと思われ
ます。



今年は、賛助会用の展示ブースを設ける事が出来ませんでした、次回の開催では充実した展示
ブースを考えるべきと反省しました。



これからも設計事務所キャンペーンや、耐震
キャンペーンなどを通じて、無料耐震診断制度、
家具の固定、補強金物や耐震補強工事の説明、空
き家対策の相談、省エネルギー住宅の必要性の理
解などを行い、このような催し物の回数や場所を
少しでも増やし、われわれ建築士事務所が身近な
存在である事のアピールなど、地道な努力と建築
に関する他の団体との協力が大切かなと感じました。

最後の、開催の準備・運営にご協力いただいた
会員・賛助会員並びに関係各位に心より御礼申し
上げます。



●神戸市すまいとまちの安心支援センター共催事業●

マンション管理組合向けセミナー 災害（地震）への備え

日時：平成28年2月13日（土） 13：30～16：30

場所：すまいるネットセミナールーム（サンバル5階）

共催：神戸市すまいとまちの安心支援センター 後援：兵庫県、神戸市、マンション学会・関西支部

共催セミナー担当 成瀬 秀一

講義内容

第1部：災害を巡る最近の話題など

神戸市危機管理室

清水 陽

- ①阪神・淡路大震災を振り返って
- ②神戸市地域防災計画
- ③南海トラフ地震の発生メカニズムと被害想定
- ④地震での減災対策の取り組み
- ⑤津波での減災対策の取り組み
- ⑥南海トラフ地震の意識啓発と情報発信
- ⑦もしもの時の備え・防災備蓄品とチェックシート



第2部：神戸市の地震対策と助成制度

神戸市すまいとまちの安心支援センター

田谷 孝寿

- ①すまいるネットの紹介
- ②耐震への取り組み
- ③阪神・淡路大震災での旧耐震の被害



- ④無料簡易診断と精密診断について
- ⑤Eディフェンスのビデオによる家具固定の必要性
- ⑥マンション大規模修繕工事と耐震改修工事の同時施工について
- ⑦各種支援制度の紹介

第3部：管理組合への簡易診断の解説

(一社)兵庫県建築士事務所協会神戸支部(構造設計一級建築士)

安藤 昇



- ①建築基準法の耐震基準の概要
- ②兵庫県南部地震での神戸市の建築年度による被害数

- ③耐震簡易診断の申込方法
- ④調査方法と調査による計算結果と評価について
- ⑤精密診断に必要な概算費用の算出と助成制度の案内

第4部：フェニックス共済について

(公財)兵庫県住宅再建共済基金
藤本 保雄

- ①阪神・淡路大震災の被害の概要
- ②東日本大震災の被害の概要
- ③南海トラフ地震の発生確率と兵庫県での被害想定
- ④マンションの備えと共済制度の必要性
- ⑤フェニックス共済の概要・特長・給付金について



第5部：災害への備え

(一社)兵庫県建築士事務所協会神戸支部
成瀬 秀一

- ①災害発生時に管理組合が取り組むべきトラブル回避方法と、裁判事例を参考にした問題解決方法
- ②災害時の被害想定額の算定方法と、損害保険会社8社の保険内容の比較と特約の解説により、自身のマンションに適した保険内容と保証内容の判断方法
- ③無関心層にも協力を得られるように、資産価値の維持のために参考となる無料アイテムの活用方法

耐震診断・改修工事の講義内容だけでは、集客に不安があり、少しでも関心をもって頂く為に「災害」にも枠を広げ、兵庫県、神戸市、マンション学会・関西支部に後援をいただくことにしました。また一日かけて東灘区から西区まで神戸市内9区の区役所や関連団体に伺いチラシを置いていただくことが出来ました。

努力の甲斐があったのが無かったのが17人の参加がありました。

遠くは京都からの参加者があり、和歌山県建築士事務所協会の耐震判定の委員長で、大阪大学名誉教授である構造の鈴木計夫先生が一般聴講生として参加されていました。

神戸支部単独で、一般への集客方法に考えが及ばず、共催事業や後援をいただき公的機関の協力を得て広報活動を行っておりますが、公的機関の協力を得るためには、同業他社からのクレームに対して難色を示される傾向にあり、賛助会員への協力も得られない状況でセミナーを開催しております。

1回目の平成24年1月26日から今回で計5回、マンション管理組合向けセミナーを担当させていただいておりますが、企画、講師依頼、講師との打合せ、共催・後援依頼、会場手配・会場設営、広報活動におけるチラシ作成・配布作業など一人で担当するには限界を感じています。

これからも共催セミナーを継続するのであれば、個人に頼るのではなく、研修部や、ビルマンション神戸修繕監理協会など部単位で担当して活動して頂きたいとおもいます。

●平成28年度 神戸市すまいの耐震キャンペーン●

オープニングイベント

成瀬 秀一



1. 趣 旨

近い将来発生する確率が高いと言われている南海トラフ地震をはじめとして、地震に対するお住いの耐震化の備えについて周知する。

神戸市では、毎年9月・10月を「神戸市すまいの耐震キャンペーン」期間と位置づけ、市民団体・専門家団体・報道機関等と連携し、耐震化に関する様々なイベントを集中的に開催する。

2. オープニングイベント開催概要

神戸市の耐震化促進キャラクター「オキールはかせ」が登場し、インターンシップの学生たちと一緒に「すまいの耐震化」に関するチラシやグッズを配布する。

又、耐震診断や改修工事に関連した強引な勧誘やリフォーム詐欺などの悪徳商法の被害を未然に防止するために、兵庫県警本部と協働して、現地相談会・啓発活動を行う。

3. 日 時

平成28年9月1日(木) 13時～15時

4. 会 場

さんちか夢広場(神戸交通センタービル エスカレータ下)

5. 実施内容

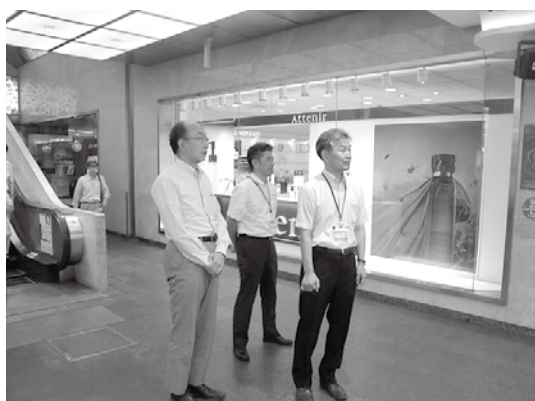
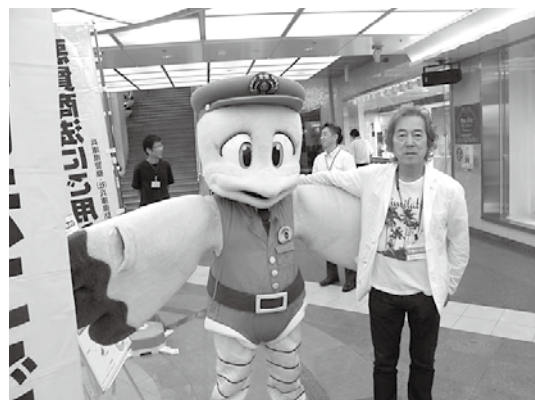
- ・すまいの耐震化補助制度パンフレットの配布等(勧誘電話注意チラシ・耐震啓発パンフレット・すまいるネット紹介パンフレット)等
- ・現地相談会
- ・オキールはかせとの記念撮影会

6. 参加団体等

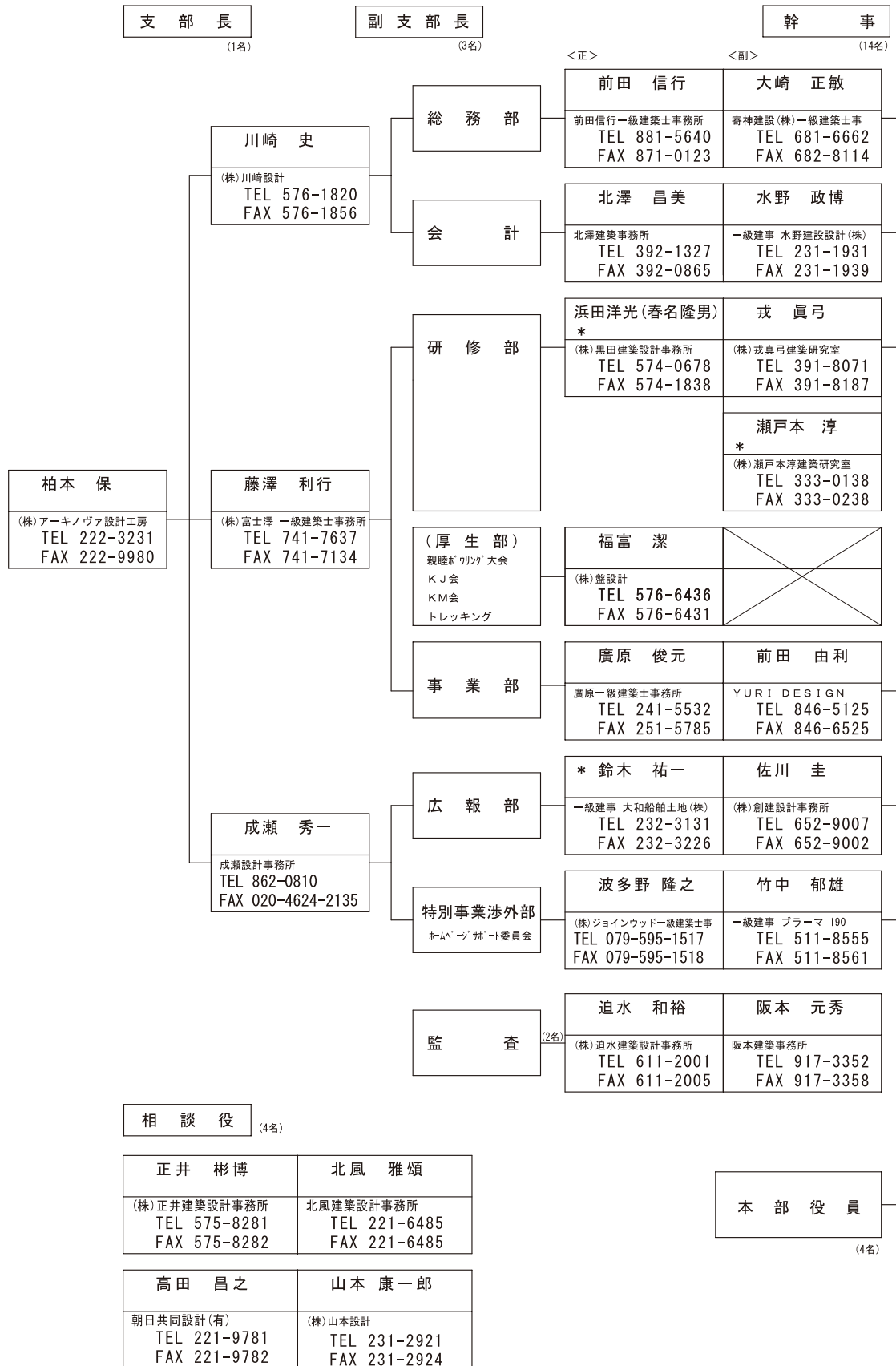
- ・神戸市耐震推進課・インターンシップの学生・すまいるネット
- (一社)兵庫県建築士事務所協会神戸支部
- 兵庫県警察本部生活安全部生活経済課
- 神戸市すまいとまちの安心支援センター

7. タイムスケジュール

12:30 準備開始 → 13:00 イベント開始
→ 15:00 イベント終了 → 15:30 撤収完了



(一社) 兵庫県建築士事務所協会 神戸支部



組織図・役員業務分担表 (平成28,29年度)

*印は、新任役員を示す。
※印は、重複役員を示す。

H28.10.30改訂

委員

(25名)

岡田 徹 徹建築設計事務所 TEL 271-3933 FAX 265-0850	森脇 匠一 丸正建設(株)一級建築士事 TEL 621-8661 FAX 621-5887	* 植並 昭則 阪神国際港湾(株)一級建築士 TEL 855-2215 FAX 855-3960	* 赤松 正憲 TAC-CA建築設計事務所 TEL 843-2448 FAX 841-8550
--	--	---	--

神原 毅司 兵庫六甲農業協同組合一級建築士 TEL 981-7896 FAX 981-0997	小野 剛(平野 敦) * 大和リース(株)一級建築士 TEL 291-0813 FAX 291-0819
--	--

安藤 昇 一級建築士事 伊丹工房 TEL 072-785-0264 FAX 072-785-0264	吉田 多雄 (株)吉田設計事務所 TEL 332-2720 FAX 332-2770	畑岡 恒久 (有)T&H設計一級建築士事務所 TEL 325-5780 FAX 325-5781	谷口 敏宏 (株)財田建築設計事務所 TEL 821-7443 FAX 821-8337
---	---	---	---

井川 和幸 神鋼不動産(株)一級建築士事 TEL 261-2240 FAX 261-2139	平川昌勝(富永紘子) 一級建築士 創企(株) TEL 261-0202 FAX 261-0788	前田 進一 前田建築設計事務所 TEL 575-5624 FAX 575-5624	* 松井 和宏 ArchiLabo時空創 TEL 922-5995 FAX 922-5998
---	---	--	---

伊田 昌弘 (株)IDA TEL 861-2001 FAX 861-2002	* 岡田 俊彦 スペースプロ一級建築士事 TEL 946-8880 FAX 946-8889	* 大路 正利 柳大路工務店一級建築士 TEL 811-1985 FAX 811-1275	
---	---	--	--

藤木 宏互 (株)藤木設計事務所 TEL 576-4351 FAX 577-1921	三宅 正浩 (株)y+m design office TEL 891-7616 FAX 891-7620	* 寶谷 勝馬 設計事務所建築計画寶谷 TEL 079-223-0194 TEL 079-223-0194	* 前田 實夫 (株)都市景観総合設計 TEL 671-1723 FAX 671-3103
---	---	--	--

前田 さえ アトリエ sae TEL 332-7280 FAX 020-4622-4553	* 大和 雅生 大和デザインファーム一級建築士 TEL 779-0974 FAX 779-0974	山本 耕一郎 LARC建築事務所 TEL 752-7849 FAX 752-7849	中村 利明 (株)ナックス建築設計事務所 TEL 599-7940 FAX 599-7941
--	--	---	---

各業務担当者表

事業名	担当者名
親睦ボウリング 大会	代表担当 福富 潔
	担当 平川昌勝(富永紘子)
	担当 井川 和幸
マージャン同好会	担当幹事 前田 進一
ゴルフ同好会	代表担当 柏本 保
	担当幹事 水野 政博
	担当幹事 前田 信行
	担当幹事 大崎 正敏
地区別連絡協議会	担当幹事 廣原 俊元
	担当幹事 前田 信行
	担当幹事 三宅 正浩
	担当幹事 三宅 正浩
ホームページ サポート委員会	代表委員 竹中 郁雄 担当委員 波多野隆之
わが街サポート 委員会	代表委員 成瀬 秀一
ビル・マンション神戸 修繕監理協会 (定期報告 業務グループ)	事務局長 柏本 保
	会長 山本康一郎
	副会長 岡田 徹
一般向けセミナー	副支部長 藤澤 利行
	副支部長 成瀬 秀一
公共建築設計 研究会	委員長 柏本 保
いきいき下町 推進協議会	構成員 柏本 保 運営委員 成瀬 秀一

本部役員・部員・委員業務分担

部 名	部・委員会担当者名
総務財務部	部 員 川崎 史
教育情報部	副部長 柏本 保
	副部長 前田 信行
経営部	部 員 水野 政博
技術部	
広報渉外部	副部長 成瀬 秀一
苦情解決 委員会	委員長 柏本 保
倫理委員会	委員長 竹中 郁雄
役員候補者 選定委員会	委員 高田 昌之
苦情相談員	

※役員総会45名+13社

賛助会 (13社)

代表幹事 (株)北村鉄工所 北村 憲司 TEL 06-6719-3031	総務部幹事 (正)小松カール工業(株) 神戸営業所 長川 裕 TEL 856-8181 F 856-8141 (副)吉野石膏(株) 神戸営業所 高橋 宏輔 TEL 302-3062 F 302-3071	研修部幹事 (正)エスケー化研(株) 藤谷 章 TEL 671-0451 F 671-0474 (副)(株)LIXIL 神戸支店 奥田 海太 TEL 361-3322 F 361-6956
広報部幹事 (正)三和シヤッター工業(株) 神戸支店 三原 芳之 TEL 871-5557 F 871-5532 (副)大創建設工業(株) 浅井 嗣也 TEL 371-0325 F 341-6015 (副)関西塗研工業(株) 藤田 秀人 TEL 06-6454-1271 F 06-6454-1672	事業部幹事 (正)大阪ガス(株)兵庫ビル'ソグ'営業部都開チーム 平井 保夫 360-3586 F 360-3014 (副)(株)総合資格 総合資格学院 神戸校 石村 雄彦 TEL 241-1711 F 241-6711 (副)ケイミュー(株)神戸営業所 * 奥村 美幸 TEL 333-1048 F 333-1105	厚生部幹事 (正)文化シヤッター(株) 神戸支店 谷向 康裕 TEL 371-3853 F 361-7558 (副)菱電ビル'ソグ'施設(株) 神戸営業所 川上 雅史 TEL 331-7221 F 331-5546

理事

※ 柏本 保 (株)アーキノヴァ設計工房 TEL 222-3231 FAX 222-9980	※ 竹中 郁雄 一級建築士 ブラーマ 190 TEL 511-8555 FAX 511-8561
※ 成瀬 秀一 成瀬設計事務所 TEL 862-0810 FAX 862-0811	※ 前田 信行 前田信行一級建築士事務所 TEL 881-5640 FAX 871-0123

受 祝 賞

国土交通大臣表彰

兵庫県自治賞



山本 康一郎
平成28年7月11日



川崎 史
平成28年12月21日



新 入 会 員 紹 介

【正会員】

支部	氏名	年齢	事務所名	所在地／TEL／FAX	備考
神戸	やまと まさき 大和 雅生	67	大和デザインファーム 一級建築士事務所	〒650-0004 神戸市中央区中山手通4-22-16 ノベラ中山手105 TEL：078-779-0974 FAX：078-779-0974	開設者 兼 管理建築士
				E-mail：ydf@kobe.zaq.jp	
神戸	まつい かずひろ 松井 和宏	56	Archi Labo 時空創	〒673-0041 明石市西明石南町2-1-1 TEL：078-922-5995 FAX：078-922-5998	開設者 兼 管理建築士
				E-mail：info@jikuso.com	
神戸	うえなみ あきのり 植並 昭則	51	阪神国際港湾(株) 一級建築士事務所	〒651-0087 神戸市中央区御幸通8丁目1番6号 神戸国際会館20階 TEL：078-855-2215 FAX：078-855-3960	管理建築士
				E-mail：a-uenami@hanshinport.co.jp	
神戸	よしだ やすひろ 吉田 康裕	63	K・S・C 一級建築士事務所	〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1丁目8-4 TEL：078-360-8185 FAX：078-360-8185	開設者 兼 管理建築士
				E-mail：ksc2016@ares.eonet.ne.jp	

【正会員（移籍会員）】

支部	氏名	年齢	事務所名	所在地／TEL／FAX	備考
阪神	たに ひろかず 谷 弘一	42	(株)谷工務店 一級建築士事務所	〒651-2113 神戸市西区伊川谷町有瀬1456-3 TEL：078-974-7710 FAX：078-974-0874	阪神支部 →神戸支部へ 移籍(7月付)
				E-mail：	

【賛助会員】

支部	名 称	代 表 者 名 (担当者名)	所在地／TEL／FAX	業 種
神戸	株式会社NTTフィールドテクノ 関西支店 ビジネス推進部	平橋 盛通 (赤松 良祐)	〒556-0012 大阪市浪速区敷津東2-5-19 NTT大国町ビル4F	<ul style="list-style-type: none"> ・故障受付・電話サポート等コールセンター業務 ・宅内設備の設備管理・故障修理等の宅内保守業務 ・宅内設備サポートサービスの提供 設備業務に関する技術者育成の業務 ・光開通関連オペレーション業務 ・ICT、エネルギー分野等に関わる工事・保守・訪問サポート等のオンサイトサービス等
			TEL : 06-4396-7218 FAX : 06-4396-8795	
E-mail :				
神戸	セイキ販売(株)	中村 薫 (原井川 諭)	〒570-0014 守口市藤田町2-2-3	建材メーカー(収納網戸・目かくし・合成木材)
			TEL : 06-6780-1700 FAX : 06-6780-1800	
E-mail : k-nakamura@seiki.gr.jp				
神戸	エステック(株) わくわく・ラボ	西村 潔 (島村奈佳子)	〒651-2132 神戸市西区森友5丁目113番地	<ul style="list-style-type: none"> ・環境関連操置の製造・販売 ・省力化自動制御装置の販売及びアフターサービス
			TEL : 078-923-6630 FAX : 078-923-6640	
E-mail : nishi-k-mura@esu-tech.com				
神戸	(有)シミズワークス& アソシエイツ	志水 保次	〒657-0837 神戸市灘区原田通3丁目8-7	<ul style="list-style-type: none"> 塗床工事業、防水工事業、大工工事業、左官工事業、屋根工事業、石工工事業、タイル・れんが・ブロック工事業、板金工事業、ガラス工事業、内装仕上工事業、建具工事業
			TEL : 078-861-5029 FAX : 078-861-5021	
E-mail : info@shimizu-works.jp				

●●●「作品紹介」の募集と展示のご案内について●●●

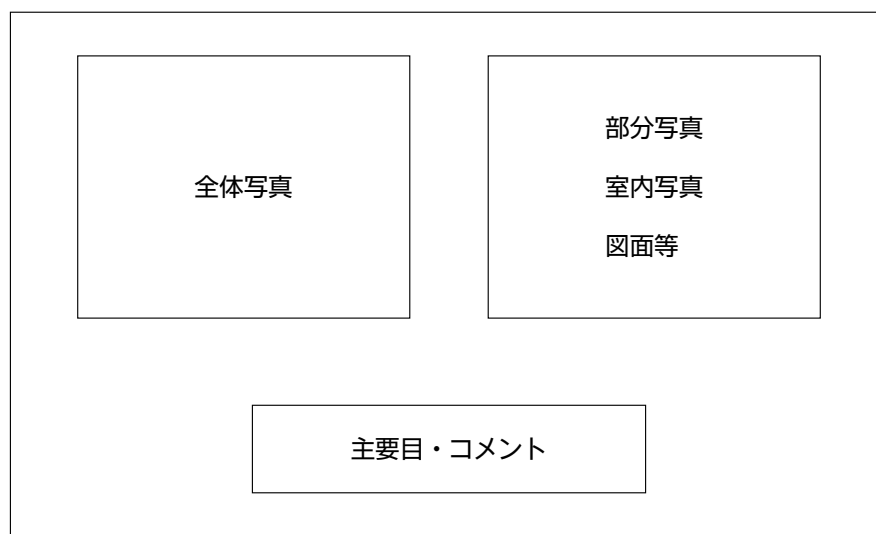
標記について、「作品紹介」を下記の展示・掲載のために、会員の皆様から募集しますので、応募要領により奮ってご応募下さい。

I 「作品紹介」募集について

1. 応募作品の内容

建築物を対象とし、下記の要領で纏めた作品とします。

写真と主要目・コメントを下図(例)のようにA3サイズにレイアウトして、下記の宛先までご送付下さい。



①写真配置は例示したもので複数枚でも可です。

②机上自立展示又は壁に吊り掛け展示になりますので、当方で用意するA3透明硬質ビニール製カードケースに入れて展示しますので、挿入出来るものとします。(カラーコピーで可)

主要目・コメント欄には下記事項を記載して下さい。

①物件名 ②設計監理 ③施工 ④建築場所(区町まで) ⑤工期 ⑥構造規模 ⑦建築面積 ⑧延べ面積
⑨内容・コンセプト

* 応募作品は返却しません。

2. 応募作品提出先

連絡先：〒651-0088 神戸市中央区小野柄通3-1-15 鈴木ビル 大和船舶土地株式会社 宛

TEL 078-232-3131・FAX 078-232-3226/ <http://www.daiwasenpaku.co.jp>

出来るだけ展示・紹介したいので、その他にご推薦出来る展示場所がありましたらご連絡下さい。

作品紹介



設計監理／株式会社 創建設計事務所 佐川 圭
 物件名／学校法人 米田学園
 神港みどり幼稚園
 所在地／神戸市兵庫区会下山町2丁目
 用途／幼保連携型認定子供園
 床面積／481.66㎡
 竣工／平成28年2月



昭和26年4月、神港みどり幼稚園は緑溢れる会下山公園の麓、兵庫区会下山町に設立されました。「園のあゆみ」によると戦後間もない当時、地域に幼児教育施設が無く幼児教育を通じて少しでも社会貢献できればとの思いから米田はるゑ園主により個人立として運営が開始されました。平成18年、創立者が他界され安定した経営基盤を作るために学校法人米田学園として法人化されました。この度、幼保連携型認定子供園に移行するにあたり南校舎の建て替えをしました。幼稚園、保育園を設計する際には常に、機能性を重視しつつも園児が安全に、そして安心して過ごせる建物になるように心がけています。階段の踊場に、4色のカラーガラスブロックを9個嵌め込んだ4つの四角い窓を設けました。時間や天候により、差し込む光の表情が異なり心地よい空間となっています。

作品紹介

設計監理／株式会社 創建設計事務所 佐川 圭

物件名／日新信用金庫 江井ヶ島支店

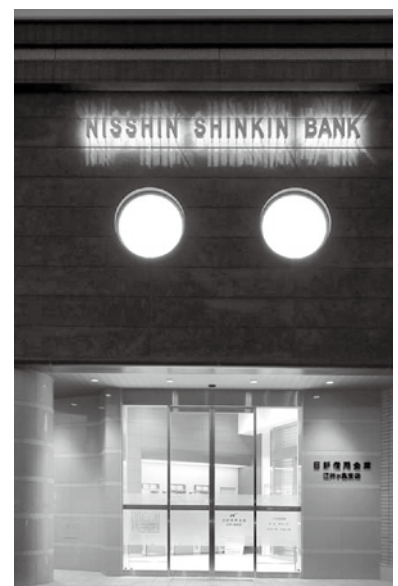
所在地／明石市大久保町江井島

用途／金融機関（信用金庫）

床面積／649.34㎡

竣工／平成28年2月

日新信用金庫江井島支店の移転新築工事です。
敷地の形状が菱形のため、コーナー部分を隅切りし亜鉛メッキ+リン酸処理したパネルを貼り、ファサードデザインを考えました。
2つの丸窓は、内側にLEDの導光板を設け、全面が光るようにしています。
地域に親しまれるランドマークになればと思っています。



作品紹介

ARCHITECT OFFICE
YURI DESIGN

「PATISSERIE Poirier (パティスリー・ポワリエ)」平成28年7月21日夙川にオープンした洋菓子店。



「TRION (トライオン)」平成28年9月13日リニューアルオープンしたバッグメーカーの本社フラッグショップ。



「La Tachi (ラ・ターチ)」平成28年10月18日三宮の不動産にオープンしたフレンチレストラン。



平成28年は、お店の設計をたくさんさせていただき、忙しくも楽しい1年でした。いずれもどうぞご最真に！

作 品 紹 介

設計監理／一級建築士事務所 YURI DESIGN
物件名／PATISSERIE Poirier
業 種／洋菓子の製造販売店
所在地／西宮市若松町3-2 デュオリビエール101
構 造／鉄筋コンクリート造テナントビルの1階部分
床面積／55㎡
竣 工／平成28年7月15日
施 工／まるは建設 橋本浩一
厨房設備／不二商会
家具工事／永野製作所 永野智士
アイアン／プランクトン 中井徹

長年修行されたオーナーシェフが独立開業したパティスリー。「シンプルで入りやすいお店」という依頼だった。良い素材しか使わない優しいお菓자에似合うように、内装は漆喰と無垢の木で。「poirier」は「洋梨の木」の意。緑の壁は、オーナー自ら施工した。元々あったテントの骨組みを利用し、つる植物を誘引する計画。

設計監理／一級建築士事務所 YURI DESIGN
物件名／TRION
業 種／バッグの販売店
所在地／大阪市中央区安土町2-5-10
構 造／鉄骨造自社ビルの1階部分
床面積／1階52.32㎡ ロフト階11.64㎡ 合計63.96㎡
竣 工／平成28年9月7日
施 工／株式会社デュアルアームス
株式会社アルテ・アバン

野球の革グローブの製造技術を活かして作られたバックメーカーの本社の1階にあるフラッグショップのリニューアル。4メートルの天井高さを生かしたデザインにするために、鉄鋼を立ててバーを掛け、きれいな色のバックがずらりと並ぶようにした。もう一方は既存の大理石の壁を活かしながら、1点1点がきれいに見えるように棚を配置。ロフトは小さいながらも、個性的で優しい色調に。通りから見たときや、店内の商品への照明の当て方にもこだわった。

設計監理／一級建築士事務所 YURI DESIGN
物件名／La Tachi
業 種／フレンチレストラン
所在地／神戸市中央区加納町3-14-7
構 造／鉄骨造テナント建物の1階部分
床面積／47㎡
竣 工／平成28年10月15日
施 工／安部装工 安部禎総
厨房設備／福島工業

御影でミシュランの星をとり続けている有名なフレンチレストランで10年修行された若きオーナーシェフの店。洗い出しの階段にはアイアンと桑の木の手すりに緑を配したファサード。アフリカンチェリーのカウンターに6席、テーブルに4席の小さな店だが、漆喰の壁に古材や丸太、ナラの床板、いろいろな型板ガラス、ウエグナーのチェアなど、自然素材で心地よい空間を目指した。

作品紹介

尼崎市第9回「まちかどチャームング賞」受賞



設計監理／株式会社 戎真弓建築研究室
物件名／朝田医院・朝田邸
施工／株式会社 戎工務店
建築場所／尼崎市南塚口町
工期／平成26年1月～26年10月
構造規模／S造・2階建
建築面積／218.42㎡
延床面積／352.61㎡



- ・この建物は、阪急塚口から南へ伸びる道路と、西のピッコロ劇場へ向かう道路の交差点に建っています。
- ・西面、南面共景観条例の対象区域で、それぞれ1m巾のスペースを設け、西側は1年草の草花、南側には地被類、垣根、中高木の植栽が施されています。四季を通じて花や紅葉が楽しめます。
- ・特に西側のコーナーは、塀を設けず視界が広がり、オープンなスペースとなっています。
夜間もガラスブロックからの明かりや道沿いの庭園灯で楽しく歩ける空間になっています。

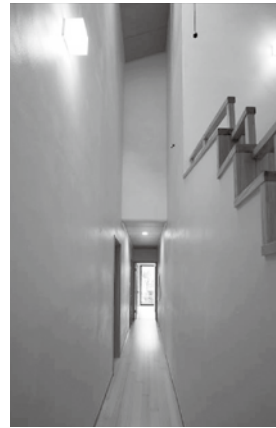
作品紹介



玉泉寺は、大阪府の北海道と呼称される能勢町の田園風景豊かな東山辺地区に建つお寺である。

本堂と同じ敷地内に建つ庫裡は、築後すでに120年経過、過去増改築を繰り返しているが、老朽化により近年建て替え要望が出ていた。昨年やっと檀家の熱い思いが実り、建て替えが決議された。意匠的には外壁を純白の櫛引の左官仕上げとし、屋根は入母屋の日本瓦葺き、基本的にはモノトーンの色計画とし、周景との調和を保ちつつも斬新さを持ち合わせた‘現代和風’の重厚感あるファサードとした。愛称は、‘白鷺の館’。

また、境内において良質な左官に適する土が出土したため、大広間、和室、内部共用部の壁は全て現場の土を練り込み、左官仕上げとした。床材も竹材のフローリング材を採用、人に優しい温もりのあるエコ材料で統一した。



廊下



玄関



軒先



アクセントブロック

設計監理／株式会社 アーキノウア設計工房
 物件名／能勢町・玉泉寺の庫裡（白鷺の館）
 施工会社／株式会社 中井工務店
 場所／大阪府豊能郡能勢町山辺地内
 工期／平成24年8月～平成25年3月
 構造・規模／木造2階建て
 延べ面積／308.89㎡（93.4坪）



大広間



和室

作 品 紹 介



設計監理／大和船舶土地一級建築士事務所
有限会社ランドサット

物件名／BELLTREE御幸通

施 工／まこと建設株式会社

建築場所／神戸市中央区御幸通4丁目

工 期／平成28年4月20日～平成28年9月30日

構 造／鉄骨造

階 数／地上9階

建築面積／103.32㎡

述べ面積／786.65㎡

三宮駅から近くビルの合間に六甲山を望み都会と自然とが垣間見えるこのエリアで、暮らすにも働くにも最適な都市型デザイナーズマンション。住居、事務所や店舗等、多彩な使い方が可能な室内は、奥行きのある間取りに可動式家具を備え、住み手に合わせて自由に空間を使用できる。

ファサードの大部分を占めるガラスの開口からは、日中、北側の穏やかな自然光が入り込み、神戸の街並みを見通せる。外壁に杉板、内壁に亜鉛メッキ、窓側床面に間接照明など、様々な仕上げで印象的な外観を作り上げ、多種多様な活動拠点として活用できる。



作 品 紹 介



設計監理／大和船舶土地一級建築士事務所・
有限会社ランドサット

物件名／中山手Suzuki bldg.北館アネックス+北館

施工／株式会社住信

建築場所／神戸市中央区中山手1丁目

工期／平成27年9月1日～平成28年3月31日

構造／鉄骨造（リノベーション）

階数／地上5階

建築面積／33.36㎡ + 32.02㎡

述べ面積／148.23㎡ + 131.45㎡

三宮の繁華街にある老朽化した商業ビルを、1～3階をリース店舗、4・5階を賃貸住宅として再生したプロジェクト。上階に住居をもつ商業ビルは、古くから周辺に多く存在する。こうした特殊な住居形態を残しつつも、現代のニーズに合わせ、コンパクトに都市に住まうことのできる間取りと内装へと改装を行った。4階は、居室内をぐるりと3面、カーテンで囲い込める仕上げによって、5階は、ガラス張りのサニタリーを窓側に配置することによって、それぞれ、外と居室の距離をとりつつ、都会の真ん中に住まう空間へと改修した。隣接するビルも弊社所有のため、本プロジェクトと平行して一部改修を実施した。ファサードの改修や階段部分に共用廊下を設けるなど、2棟一体でのリノベーションを意識した。



作 品 紹 介



設計監理／株式会社 瀬戸本淳建築研究室
物件名／ワコーレ須磨ステーションハート
施工／株式会社村上工務店
建築場所／神戸市須磨区中落合
工期／平成27年3月～平成28年9月
構造規模／RC造地上13階
建築面積／277.13㎡
述べ面積／2627.29㎡



「わが家には、時間と共に移ろう眺めが欲しい。」「ほっと息のつける緑の風景がほしい。」「いっぱい開放感を味わいたい。」「心地よい陽射しと風を感じたい。」「日々便利な名谷の魅力をたっぷり教授したい。」とのユーザーの思いを胸に計画いたしました。となりに建っている私たちが設計監理しました、ワコーレ名谷ステーションフラッツの中にある名谷みどり保育園の分園も1階に入居しました。ポイドスラブによりすっきりとした室内空間を実現したり、複層ガラス、防音サッシ、セキュリティサービス、耐震枠は玄関ドアなどの採用により快適で安心な暮らしを目指しています。



作品紹介



笹の倉舎 / 笹倉洋平

設計監理 / 株式会社 y+M design office

物件名 / キダントイエ

施工 / 株式会社Arcc

建築場所 / 奈良県生駒市

工期 / 平成26年9月20日～平成27年3月25日

構造 / 木造

階数 / 地上2階

建築面積 / 61.69㎡

述べ面積 / 107.61㎡



大阪府と奈良県の県境に位置する生駒山の麓。棚田の田園風景が時代とともに少しずつ住宅地に変わりつつある地域に、若い夫婦2人が住む住宅を計画した。敷地は棚田の中にありながら、東側は人通りの多い通勤通学道路に面し、西側には建売住宅が建つ開発工事が計画されている。これら周囲の視線からプライバシーを確保するため緩やかな曲線を描く外塀を計画した。その外塀を基壇として、ふわりと5つの家型ポリウムをのせている。1階基壇、2階家型というそれぞれの形を活かし、カーテンをすることなくプライバシーが保たれた開放的な生活環境を実現させるとともに、棚田と住宅が混在する風景に溶け込む計画としている。



『雲の上に立つ』富士登頂回想録

関西塗研工業(株) 藤田 秀人

今回、初の富士登山ですが、一般的なものでなく、『馬返し登山口より入り、1合目から富士山頂である剣ヶ峰に立った回想録をお伝えしたいと思います。

7:00仲間と出発し、新東名を利用しスムーズに御殿場ICまで快走。富士宮当りでは上空に灰色の雲が山を覆っていて、少し不安でした。

富士吉田にある駐車場に車を置き、身支度を整えて、タクシーに乗り込み、まずは『浅間神社』で安全祈願をしました。

鳥居をくぐると、境内両脇には立派な杉があります。

向かって左が『富士太郎杉』・右が『富士二郎杉』、と御名がついてあり、なかなか趣のある神社でした。神社を後にする頃には、登山日和だと言わんばかりの晴天になっていました。ワクワク感倍増です。

浅間神社を後にし、いよいよ14:13「馬返し」入口横の箱に登山届を投函し、出発となりました。

少しなだらかな階段に灯籠や石柱などが点在し、江戸時代にでもタイムスリップしたかの様な静謐なおもむきある道で、石の鳥居をくぐると猿の狛犬が僕たちを向い入れてくれました。

14:29はや、一合目到着です。「鈴原天照大神」と書かれた立札があり、その後ろに廃墟となった神社がありました。

15:00 二合目に到着、ここで標高1,705mあります。歩き始めはしんどいものですね。勾配がきつくなってきているせいでもあります。小休憩でトマトをほおぼる、「まいう!!」

15:35 三合目 1,840m ザックを置いて休憩していると、東京から五合目までで、日帰り登山の家族が下山してこられたので、今晚

宿泊する「佐藤小屋」のことをあれこれ教えてもらい、山小屋にしてはトイレ事情がよく快適とわかると嬉しくなりました。そのころガスが下から立ち込めて来たようで、先を急ぐことにしました。

四合目から四号五勺16:47到着です。

登山道には多くの小屋があったとの事で、写真や説明書きが立てかけてありました。道の両脇には「ホタルブクロウ」の薄紫の花や五合目中宮「富士山雲切不動産」の小さな祠もありました。この辺りには、ピンク色の「シャクナゲ」が心を和ませてくれます。

「頑張れ!!!」「もう少し!!!」

富士スバルラインの道路にでました。道路から下界を見ると雲海でいっぱいでした。道路を挟んでまた登山道に入り、少し石の階段を昇ると、今晚の宿泊先の「佐藤小屋」の建物が見えてきて、ほっとしました。17:05 2,230m 佐藤小屋到着です。

本当の楽しみは、

「ビール!! ビール!! 楽しみはこれかいな!!!」

今日は、お疲れさまでした。「カンパニー」暮れゆく空と雲海に浮かぶ山々を見ながら、明日に思いを馳せていました。



夜中3:00頃からご来光を見る為に登り始める人の物音で寝ていられなくなり、外に出ると、富士吉田市街の夜景がキラキラと美しく観られました。4:37



ご来光「やった!!来年の年賀状はこれに決まりだ!!」美しすぎる風景に魅了され、移りゆく空の色に目が離せない状態でした。天候にも恵まれたかな?と、もうすっかり感激ムードです。

5:30出発です。赤土色した富士の上には月がくっきり未だ見えていて、なんて気持ち

いい朝だろうと思いました。

広々とした坂道を登ると視界が広がり下界の山中湖がキラキラと輝いて、信州の山々や伊豆の景色がブルーの空と白い雲に包まれ幻影を見ている様な、まるで天国にいるかのごとく気分でした。

しかし、景色は素晴らしく心を和ませてくれましたが、段々追込まれます。

ペースはゆっくりめで、七合目の最初の小屋「花小屋」7:03 2,700mに到着。雲の流れが速く、下から立ち込めて来ており、見上げると山小屋だらけで、珍しい感じがしました。小屋の前にはベンチが有り、着くたび小休止をしました。

足場の悪い黒い岩稜を登って、ふと横を見ると「イタドリ」の花がパッチワークのように等間隔に咲いていて、勇気づけられましたが、この辺りより体がふわぁふわぁして、貧血でも起こしそうな感じを覚えました。

8:50 八号目 3,100m「太子館」到着。ん～、やっと八合目か!!

3,110m「白雲荘」、景色は飛行機の中から見る雲と空の狭間にある景色です。

3,250m 八合目 元祖室から3,400m 本八合目、「何回八合目あるねん!!」しんどさでキレそうでした。

小屋では水も売っていて、500mlで500円です。トイレは200円、頂上だと300円になります。「タケ〜!!」

途中、韓国の女の子がペットボトル1本だけで登って来て、聞いてみると荷物は兄弟に持たせているとの事でした。「え!! 日本では、絶対ありえへんなぁ」

3,450m 八号五勺「くるしーい!!」九合五勺を過ぎた頃、沢山の人がごろごろと苦しそーに横たわっていました。この辺りでダウンする人が多くなり、酸素缶をもって倒れている人もいました。

自分も顔が貧血の前の様に血の気が引きていく感じを覚え、ザックに持たれ暫く小休憩としました。これは、高山病の走りの様なものらしく、頭痛は最後までしなかったもので、ラッキーでした。

岩稜を一步登る度、「ハアハア」ふと、テレビで見たエベレスト登頂画面を思い浮かべました。「もう少し」、「言わないで欲しい言葉です。」やまのもう少しは、どんなに遠いか。

13時01 久須志神社到着。ここが頂上とし、下山する方も多いと聞きましたが、ゆっくり休憩を取った後、本当の頂上「剣ヶ峰 3,776m」に向かいました。

溶岩の異様な姿を見ながら、お鉢廻りをして、富士山の浅間神社に手を合わせ、富士登山記念にと郵便局で「登山証明書」を買い、はがきは送ることにしました。

そして、暫く歩き急な砂利を登ると、「富士観測所」があり、その先が日本最高峰の二等三角点「剣ヶ峰」に到着、14時25分でした。登頂成功、「感無量です。」

空はどこまでも青く、澄み切っていて、最高のお天気に恵まれ、この上もなく素晴らしい景色を見せてくれた富士山に立てた事、そして勇気づけ誘導してくれた仲間感謝したいと思います。





CAMINO DE SANTIAGO サンティアゴへの道

(株)黒田建築設計事務所 石田 邦夫



その紀行文を読んだ時に、私のこの旅は始まったのです。

その紀行文とは、平成19年7月～11月にかけて日経新聞に掲載された「還暦カミーノ・スペイン巡礼記」でした。私と同じ団塊世代の還暦を迎えた記者が、エルサレム、ローマと並ぶカトリックの三大聖地の一つサンティアゴ・デ・コンポステラを目指して約800kmの道のりを歩いた紀行文でした。ロマンチズムに捕らわれ、私も『その道を歩いてみたい』と思い立ってから8年が過ぎてしまいましたが、歩き終えた今は充足感に満たされています。

(51日間の歩き旅 平成27年5月～7月)

補足①カミーノ (camino) はスペイン語で「道」を意味します。

②サンティアゴはスペイン語で「聖ヤコブ」を意味します。

③コンポステラは「星降る原野」を意味するとされています。

スペインの西北端に位置するサンティアゴ・デ・コンポステラは、キリストの十二

使徒のひとり聖ヤコブの亡骸が眠る地です。聖ヤコブ信仰は、スペイン全土のキリスト教徒の間に広まり、イベリア半島のイスラム勢力に対するレコンキスタ (国土回復運動) の精神的な支柱となったのです。

11世紀になってからは、聖地も巡礼路も整備され、他のヨーロッパ諸国からも、サンティアゴの象徴とされるホタテ貝を身に着け、頭陀袋を背負い、水筒代わりの瓢箪と杖を手にした大勢の巡礼がこの聖地への道をたどったのです。しかし、14～15世紀の英仏百年戦争や16世紀の宗教改革、そしてペストの大流行などで次第に下火になってしまいました。19世紀には殆ど消滅してしまいましたが、20世紀の終盤になって一人の神父が、聖地に向かう巡礼たちが道に迷わないようにと、黄色い矢印を巡礼路の所々に描き始めたことに端を発して、再び巡礼路が復活を果たしたのです。

国籍も性別も違う巡礼たちがサンティアゴ・デ・コンポステラを目指して歩く道は多くのルートがありますが、その中の最も整備されポピュラーなルートが、平成5年に世界遺産にも登録された『フランス人の道』です。



このフランス人の道は別名『ロマネスクの道』とも言われており、巡礼路沿いの村々には11～12世紀にかけて建設されたロマネスク様式の教会や修道院がひっそりと残されています。

手近かにある不揃いな石材を使った重厚な石造りで壁は厚く、窓は小さく、天井は丸いポールトで覆われています。教会入口のタンパンや柱頭などに聖書の物語を表現した彫刻が施されています。建物や彫刻は稚拙ですが、素朴で味わい深い趣を醸し出しています。祈りを石に滲み込ませたような質素な教会がたたずむ様子に、どこか日本人の美的感覚にも通じる「わび・さび」を感じるのは私ひとりだけではないと思います。



[サンタ・マリア教会：ラバナル・デル・カミーノ村、ここでの原初的なミサには感動させられた]



[サン・ファン・デ・オルテガ修道院]

[サン・サルバドール教会]



[行き倒れた巡礼を葬った、サンタ・マリア・エウナテ墳墓教会]



[エステージャのサン・ペドロ・デ・ラ・ルーア教会中庭]



[フロミスタのサン・マルティン教会：
スペインロマネスク建築の代表作と言われている]



[エスカラーダ修道院：
スペインで最も美しいモサラベ様式の建築と言われている]

尚、フランス人の道沿いにはアントニ・ガウディの作品が二つあります。レオンの街にあるのが『カサ・ボティネス』で、現在は銀行として使われています。もう一つがアストルガの街にある『司教館』です。この建物は現在巡礼博物館となっており公開されています。



[レオンのカサ・ボティネス]



[アストルガの司教館]

サンティアゴ・デ・コンポステラに到着し、巡礼事務所で巡礼証明書を発行してもらおうと、大聖堂で行われるお昼のミサで、巡礼を達成した人たちの国名と人数が毎日読み上げられます。そして、ミサの終りには天井から太いロープで吊り下げられたポタフメイロ（大香炉）が、パイプオルガンが鳴り響く中で大きく振られ、芳しい香りで巡礼たちを清めてくれるのです。



[歩き始めて44日目、サンティアゴ大聖堂前]



[巡礼証明書：距離証明書]

スペインとフランスを隔てている国境の山・ピレネー山脈のフランス側のふもとの小さな村サン・ジャン・ピエ・ド・ポーを出発地にして、バックパックを背負い、前後に人影の見えない道を歩く時は自分の影だけを同伴者にして、西へ西へとサンティアゴ・デ・コンポステラを目指して歩く中で、20か国以上の人たちと知り合いになりました。しかし、朝起きて宿を出立する時刻のちょっとした違いや、一日に歩く距離の違いに

よって、今日出会っても、次の日は顔を見ないままの別れが数多くありました。まさしく【一期一会】を実感する旅でしたし、心の襞に滲み込むような印象深い体験をした旅でもありました。

[旅で出会った人達]



第3回フォトコンテスト

広報部

フォトコンテストも第3回を開催することができました。今年も沢山の作品が集まりました。会員の皆様のスキルも格段に上達してこれたのではないのでしょうか。今まで応募されてなかった方も今から撮りためて頂き、是非次回フォトコンテストにご応募頂ければ幸いです。

審査は今年も当会の賛助会員でもある大阪ガス(株)兵庫リビング営業部の平井保夫氏にお忙しい中、審査をしていただきました。そしてひとつひとつの作品に講評・アドバイスをして頂きました。

深く感謝申し上げます。

■フォトコンテスト結果は以下のとおり

自由部門

★最優秀賞 ……	前田信行一級建築士事務所	前田 信行
★優 秀 賞 ……	株式会社 ジョインウッド一級建築士事務所	波多野隆之
	三和シャッター工業株式会社	三原 芳之
★佳 作 ……	徹建築設計事務所	岡田 徹
	一級建築士事務所 YURI DESIGN	前田 由利
	株式会社 川崎設計	川崎 史
	一級建築士事務所 プラーマ190	竹中 郁雄
	株式会社 創建設計事務所	佐川 圭
	一級建築士事務所 伊丹工房	安藤 昇
	株式会社 アーキノヴァ設計工房	柏本 保

建築物部門

★最優秀賞 ……	株式会社 創建設計事務所	佐川 圭
★優 秀 賞 ……	株式会社 川崎設計	川崎 史
	一級建築士事務所 伊丹工房	安藤 昇
★佳 作 ……	一級建築士事務所 YURI DESIGN	前田 由利
	前田信行一級建築士事務所	前田 信行
	株式会社 ジョインウッド一級建築士事務所	波多野隆之
	一級建築士事務所 プラーマ190	竹中 郁雄
	徹建築設計事務所	岡田 徹
	株式会社 アーキノヴァ設計工房	柏本 保

《審査・講評を終えて》今年も審査委員を仰せつかり光栄な思いを噛みしめつつ、皆さんの力作を楽しく拝見しました。応募作品のレベルは年々上がっていて、写真を撮る目的をきっちり考えて冷静にシャッターを切っておられるように感じます。

中には建築物部門の応募に自由部門の方が適していると思われる作品がいくつかありましたが、応募者の意思を尊重し建築物部門で選考しました。スナップ写真は一瞬のシャッターチャンスですので、いろいろ考えている間はないかもしれませんが、段階露出をしていただくようお願いしたいと思います。更に写真のレベルが上がると思います。

(審査員 平井 保夫)

[自由部門]

★★★★最優秀賞★★★★

題名『春のべっぴん(別品)さん』(前田 信行)

《撮影主旨》まだ、寒さも残る早朝の春、朝日を浴びた灘区の桜のトンネルは「別品さん」でした。

《講評》桜の花びらを通して降り注ぐやわらかい朝日のもとで桜並木を撮影された撮影者のセンスが素晴らしいです。桜が満開なのに道路には一片の花びらも落ちていません。歩行者、車のテールランプも点景として効果的です。季節、撮影時期、時間帯、構図、露出と撮影時だけではなく事前準備をされたことを感じます。たまたま、早く目が覚めてしまって散歩に行かれたのかもしれませんが、爽やかなとてもいい作品です。おめでとうございます。



★★★★優秀賞★★★★

題名『来世からの光~夏の終わりに~』
(波多野 隆之)



《撮影主旨》8月の末、夏の終わりを告げるかのような来世からの光がさして来ました。

《講評》雲間からさす日の光を強調されたのでしょうか？敢えて露出をアンダーに抑えたことでシルエットが効いています。もう少し明るく撮影されてもいいのかもしれませんが、撮影者はこの写真が気に入られたのでしょう。水平線と海のバランスもよく構図も決まっています。

題名『やまとの秋』(三原 芳之)

《撮影主旨》低い耳成山はコスモスにも隠れてしまいそうです。

《講評》一面のコスモスに山がそれこそ隠れてしまいそうです。青空とコスモス畑のバランスもよく、撮影者のスキルの高さを感じます。コンパクトデジカメで撮影されたと思いますが、被写界深度が深く、遠くも近くも両方にピントが合っています。絞りをできるだけ開けて敢えてコスモスをほかして、後ろの山にピントを合わせた写真など何を見せたいのか表現を考えながら撮るとさらに完成度が上がると思います。



題名『夕焼け小焼けで日が暮れて』(岡田 徹)

★佳作★



《撮影主旨》暑い夏が終わり少し涼しくなった夕方の菊水山方向の夕景です。朱すぎる空、と黒い山並み、数十枚シャッターをきった中の一枚です。

《講評》実に美しい夕焼けです。山なみをシルエットにして夕焼けの美しさを一層引き立てています。山なみの部分が少なく、若干不安定な感じがします。何枚もシャッターを切られたとのことですので、ほかの写真も見てみたい気がします。



《撮影主旨》5月。散歩中にアスファルトの割れ目から咲く花にであった。

《講評》アスファルトの道路に1本だけなげに開花した花を撮影されています。なんという名前の花でしょうか？せっかくの可憐な花の撮影ですので、撮影者が花と同じ位置まで視線を下げてみたいかがでしょうか？道路を走る車をシャッタースピードを落としてぶれさせたりして、周辺の状況なども入ると都会に咲く花の健気さみたいなものも写し込めたのではないのでしょうか？

題名『アスファルトに咲く花のように。』(前田 由利)

題名『裏剣岳』(川崎 史)

《撮影主旨》樺平から上流の黒部ダムに至る輸送設備、黒部川第四発電所「黒部ルート見学ツアー」に参加しました。その途中、トンネル掘削時の土砂を輩出する空間から撮影した『裏剣岳』です。雲がかかっている姿を見られるのはごく稀だとガイドさんが言っていました。白い部分は「氷河」だそうです。その30分後展望台で見たときはすでに雲に覆われていました。

《講評》手持ち撮影でしょうか？望遠エリアの撮影ですので仕方がないのですが、若干ピントが甘いのか手ぶれをしているのか残念です。氷河に感動されたのだと思います。残念なことに日の丸構図になっているので、氷河を少し右にずらして、敢えて中心から外すことでより強調できると思います。



題名『ミカン』(竹中 郁雄)



《撮影主旨》しまなみ海道の伊東豊雄美術館の庭の片隅に植えられたミカンの樹と鉄の塊の建物との対比。

《講評》バックの空か海が真っ白に飛んでしまいました。このようにバックを真っ白にする撮影もありですが、メインの被写体であるミカンも一部真っ白に飛んでしまいました。やや露出オーバーの写真ですので、段階露出して何枚か撮影されることを勧めます。バックの美術館にピントを合わせて、みかんをぼかしてもいいかもしれません。

題名『北野町の異人館の夜景』(柏本 保)

《撮影主旨》北野町の異人館・「洋館長屋」のクリスマスイベントの夜景。クリスマスの飾りは年々エスカレートしておりますが、建物にリボン掛けし、サンタさんが建物によじ登っている組み合わせの企画が絶妙で思わず撮影しました。

《講評》サンタさんが壁をよじ登っている？壁にへばりついているんですね。夜の撮影はライトの部分とのコントラストが強いので撮影が難しい条件です。もう少し明るく撮影するとサンタさんが目立つかもしれません。



題名『もうすぐ冬やなあ！寒っ！』（佐川 圭）



《撮影主旨》しまなみ海道の伊東豊雄美術館の庭の片隅に佇むサイクルスタンド。彼？は何を感じているのか！哀愁を感じます。
 《講評》しまなみ海道はサイクリングの名所。いい被写体を選びました。せっかくなら最新の自転車もスタンドにかけてあれば、もっと良かったと思います。撮影者が近づくとか逆に離れて周囲も写し込むとか工夫されてみてはいかがでしょう？

題名『静 御前に祈る』（安藤 昇）



《撮影主旨》ひなびた漁村の高台に建つ神社で無心に祈る白拍子「静」が義経亡き後さびしく過ごしたと伝わる地にひっそりとたたずむ小さな祠 彼女は、何を、思うのか。
 《講評》静寂の中に旅行者の祈り。撮影場所がわかる静神社の表札もきっちり写し込めています。すごくわかりやすい写真です。ほかの作品も見せていただきたいと思いました。

【建築物部門】

★★★★最優秀賞★★★★

題名『ビルの狭間』（佐川 圭）

《撮影主旨》ビル街の小径で見上げた青空・雲・そして建物のコントラストに惹かれ撮影しました。
 《講評》無機質な高層ビルをうまく配置しています。ビルの間から見える青空も印象的です。露出も手前のビル側をやや暗くすることで、メインの建物を引き立てています。ビルの窓ガラスに反射する青空も空の一部になっています。見上げることでビルの下側が大きく見えて安定感も感じます。この写真ですが、表裏反転させてみたらいかがでしょう？ビルの中の青空が「人」の字に見えます。無機質なビルを撮影しながら、人間を感じさせる隠し味が出せるように思いました。いろいろ想像を掻き立てる作品を評価して最優秀賞に選びました。



★★優秀賞★★

題名『総大理石の建物』(川崎 史)

《撮影主旨》しまなみ海道ルート生口島にある「耕三寺」の境内を進んで行くと、広さ5000㎡にもおよぶ白い大理石の庭園が存在しました。その中の総大理石で建築された「カフェ・クオーレ」という建物です。

《講評》手前に大理石の庭園が広がり、建物を大きく写しても安定感を感じます。後ろの街並みとの対比も面白いです。レンズをあまり下向けることもなく、建物の垂直が歪むことなく撮影されています。撮影者の感性とテクニックを感じます。このように白い被写体の撮影方法ですが、白いものはより白く、黒いものはより黒くが鉄則ですので、他の作品でも申し上げていることですが段階露出にチャレンジしていただきたいと思います。白いものを撮影すると、カメラは勝手にグレーに撮影します。この場合、露出をオーバーにしてより白く撮影したらギリシャ風の写真というか透明感が出たかもしれません。



題名『明治の舟屋と昭和の舟屋』(安藤 昇)



《撮影主旨》舟があるじの斜め建ちの明治の舟屋
人があるじの昭和の舟屋
時代の移り変りを見る

《講評》私も一度撮影に訪れたい場所です。船がメインの舟屋と人がメインの舟屋があるのですね！望遠での撮影ですが、ピントが非常にシャープです。海面のきらめきも効果的です。傾いている舟屋を強調するのなら、横のほうから撮るのもいいですし、舟屋の使用目的を強調するのなら正面からの撮影もありかな？と思います。せっかくの作品ですので、レタッチソフトで少しコントラストを上げるとさらに良い作品になると思います。

題名『修二会』(前田 由利)



《撮影主旨》今年で1265回目という東大寺の修二会。11人の練行衆が二月堂に入ってゆく様子。冷たい雨の日にも春の気配があった。

《講評》建築物部門の応募ですが、自由部門のほうがいいのではないかと思います。建築物ではなく修行のお坊さんを撮影されています。珍しい場面を撮影された撮影者のセンスを感じます。東大寺の建物と石段がメインの被写体であれば、お坊さんではなく屋根と石段に露出を合わせた方がいいのではないかと思います。屋根が白く飛んでしまったのが残念です。

題名『あぜ道』(前田 信行)



《撮影主旨》一本のあぜ道が導くあの建物は一体、何なのでしょう？何とも言えない世界に引き込まれそうになりました。

《講評》周りに干してあるのは牧草？であれば後ろの建物は牧場の獣舎でしょうか？確かに不思議な光景ですね。曇り空が残念ですね。曇り空であれば、もう少し暗く撮影すれば何とも言えない世界が強調できるのではないのでしょうか？カメラの設定をいろいろ触って撮影してみてください。撮影者だけの特権です。

★
佳作
★

題名『熱帯の青空に映える!!』(波多野 隆之)



《撮影主旨》灼熱の太陽の下、熱帯の青空に映える現代建築群でした。

《講評》私は行ったことがない都市ですがどちらでしょうか？実にきれいな青空ですね。なんとも不思議な形の現代建築です。撮影者は灼熱の太陽の下、汗をかきつつ撮影されたのでないでしょうか？

建物が川の水面に反射しているようです。川と川べりのラインをもう少しあげてみたらどうでしょう？水面の反射がきれいかどうかわかりませんが、とにかく、いろいろチャレンジしてみてください。

題名『コントラスト』(竹中 郁雄)

《撮影主旨》しまなみ海道の伊東豊雄美術館の無機質な外壁と自然とのコントラスト、そして隅にたたずむスリムな男性との対比に思わずシャッターを切りました。

《講評》隅にたたずむスリムな男性は誰でしょうか？知性を感じます。その知性と美術館の対比が面白いです。冗談はさておき、撮影当日はあいにくの曇り空。手前の美術館に露出があっしまい、空が真っ白に飛んでしまいました。撮影時には、段階露出するかモニターでデータを確認するか、スナップ撮影ではいずれも難しいのですが、狙いがあった撮影されているのですから、もう少しチャレンジするとくっと写真が変わります。



題名『北を向いて座る北風先生(ヨドコウ迎賓館にて)』(岡田 徹)



《撮影主旨》賛助会主催研修会にてヨドコウ迎賓館を訪れた際、奥側の緑の風景と玄関のベンチに姿勢よく座られている北風先生の対比が絶妙だったので躊躇なくシャッターをきりました。後で北風先生には了解をもらいました。

《講評》屋根がある部分と奥の植栽の両方にうまく露出があって明るめにうまく撮影できています。建築物の質感が伝わってきます。被写体になっていただいた方に了解を取るのにはマナーの点でもいいことです。

題名『草屋根のショールーム(ラ・コリーナ)』(柏本 保)

《撮影主旨》和洋菓子を扱うたねやグループの施設「ラ・コリーナ近江八幡」内に建つメイン店舗。クマ笹が敷き詰められたアプローチの奥に一面芝に覆われた大屋根と背後の近江八幡山を臨む一枚。周囲の情景に良くマッチした、建築家・藤森照信氏の作品。

《講評》アプローチの熊笹と草屋根という非常に珍しい建物で写真を撮りたくなるのもわかります。たまたま、曇り空なんですか？難しい撮影条件です。建物に露出を合わせると空がさらに白くなってしまいますし難しいところです。空の右の方角に青空が見えますので、建物の正面といえますか左の方向から撮影されるといいかもれません。



「脱出経路確保」という観点で

地震に立ち向かう!

それが私たちの使命です。

おかげさまで

10年で4631件

マンションの「玄関ドア対震改修事業」進行中!!

近い将来発生するとされる南海トラフ地震。

今、これに備えておくことが必要です。

北村鉄工所は、「マンションの地震対策」の一環として、

住戸からの脱出経路の確保となる「玄関ドアの対震改修工事」を進めてきました。



一方、マンションの大規模改修工事において、「地震対策工事」の導入を促すために、当協会会員の皆様と共に、管理組合に向けたセミナー開催など、徐々に普及活動を進めております。

activity

1

神戸市すまいるネット共催セミナー

「高経年マンションの地震対策」開催しました!



第2回もご期待ください!

2013年11月23日すまいるネットにて、正会員(株)アーキノヴァ設計工房様、賛助会員菱電エレベータ施設(株)様との協働にて開催。市内のマンション管理組合から、18名の聴講ご参加をいただきました。

activity

2

当社が独自で実施した
玄関ドアの対震改修工事の
実績は、おかげさまでこの10年間で
4,631件に上ります。

伊丹市「桜台ハイツ」/神戸市「北野ダイヤハイツ」/神戸市「和光ハイマート」など、兵庫県下でも多くのマンションで当社の対震ドアは採用されています。



activity

3

UR都市機構の全国の
マンションの玄関ドアの
耐震化に採用!
現在、工事進行中



activity

4

全国の国家公務員宿舎に
採用決定!

対震丁番・累計出荷数611,306個(2013年10月末現在)

TOYOTAプリウスのバッテリーを製造するクリーンルームに、
摩耗による金属粉を抑える丁番を納入。

K-iw 株式会社北村鉄工所

本社/大阪市東住吉区桑津4丁目12-22

TEL. 06 (6719) 3031 FAX. 06 (6719) 3043

<http://www.taishin-hinge.com/>

おかげさまで

「1級建築士合格者数日本一」を
達成し続けています。

これから有資格者の育成を通じて、
業界の発展に貢献して参ります。

総合資格学院 学院長

岸 隆司



Face to Face!

inter-live!

日本で最も多くの1級建築士を 輩出し続けている学校です。

※平成24~28年度(過去5年累計)1級建築士設計製図試験 合格者合計19,562名中、当学院受講生10,636名。全国合格者占有率54.4%。
平成28年度1級建築士設計製図試験 全国合格者3,673名中、当学院現役受講生1,957名。全国合格者占有率53.3%。

兵庫県
合格者占有率
NO.1

平成28年度 1級建築士 設計製図試験

兵庫県 合格者占有率

兵庫県合格者144名中、
当学院現役受講生78名

54.2%

他講習
利用者
+
独学者
当学院
現役
受講生

平成24~28年度(過去5年累計) 1級建築士 設計製図試験

全国 合格者占有率

合格者合計19,562名中、
当学院受講生10,636名

54.4%

他講習
利用者
+
独学者
当学院
受講生

平成29・30年度
試験対策

1級・2級建築士講座開講中!

無料体験入学実施中
詳しくは下記最寄校まで

※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。※全国・都道府県合格者数は、(公財)建築技術教育普及センター発表に基づきます。<平成28年12月15日現在>

より上位の技術者へ!

1級建築士
合格実績 **No.1** 指導校の 上位資格対策講座!!

実務に従事される方が、自らの知識と経験を第三者に証明するために最も有効な方法は、専門性の高い、より上位の資格取得です。設備に関する熟練者としての建築設備士、設備設計1級建築士、構造に関する専門家としての構造設計1級建築士。資格取得は更なる躍進への絶対好機です。

強化 構造設計
1級建築士対策講座

強化 設備設計
1級建築士対策講座

ライブ or 通学 or e-講義
講義 映像 講義

強化 建築設備士
通学 or e-講義
映像 講義

各種講座の詳しい情報や受講相談など、お電話またはオフィシャルサイトからお気軽にお問い合わせください。

願書取り寄せ 無料 サービス実施中!

当学院が責任を持って各資格の願書をお渡しするので、入手し忘れの心配無用。最寄校または、QRコードからお申し込みください。



総合資格学院

スクールサイト → <http://www.shikaku.co.jp> 総合資格 検索
コーポレートサイト → <http://www.sogoshikaku.co.jp>
Facebook → 「総合資格 fb」で検索!



神戸校

兵庫県神戸市中央区雲井通4-2-2 マークラー神戸ビル 3F

TEL.078-241-1711

姫路校

兵庫県姫路市白銀町50番地 日本生命姫路ビル1F

TEL.079-224-1411

1級・2級 建築士 構造設計1級建築士 設備設計1級建築士 建築設備士 1級・2級建築施工管理技士 1級・2級土木施工管理技士 1級管工事施工管理技士 宅地建物取引士 インテリアコーディネーター

避難所間仕切

ファミプラ

1.8mの間仕切り高さでプライベート空間を形成。
プラスチックダンボール製なので設置しやすく水に強い。

被災によるさまざまな不安や心配。さらに、他人の目に常にさらされていることでストレスが増大。



避難生活が長引くほど、プライバシーの確保が重要になってきます。「ファミプラ」は、ご家族単位でくつろげるスペースを提供。ストレスを軽減します。

出入り口にオプションのカーテンを付ければ、さらに安心感が高まります。

間仕切りの高さは約1.8m。外側からの視線を遮り、避難生活中のプライバシーを守ります。

オプションのフックは、荷物や衣類をかけて収納できるので便利です。



2人用、3人用、4人用の空間を形成できるので、ご家族一緒に過ごすことができ安心です。

そのほか、施設様側にとってはこんな利点も

- プラスチックダンボールのパネルなので、湿気や水濡れに強く、保管中の管理に気を使わずに済みます。
- カゴ車（オプション）に収納して保管しておく、使用の際スムーズに運ぶことができます。
- 組み立ては、ポスト（支柱）にパネルや補強材を差し込むだけ。工具を使わず、簡単に組み立てられます。
- 個室のほか、簡易掲示板としてのご利用も可能です。
- 役目を終えたら部材をばらして、再び保管しておくことができます。

2人用 床面積：約5㎡



3人用 床面積：約7.5㎡

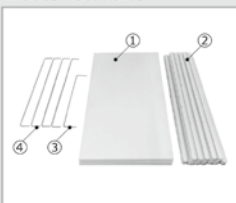


4人用 床面積：約10㎡



上の写真は、それぞれ2人用、3人用、4人用の基本ユニットです。カーテンはオプションとなります。

■部材・部品仕様



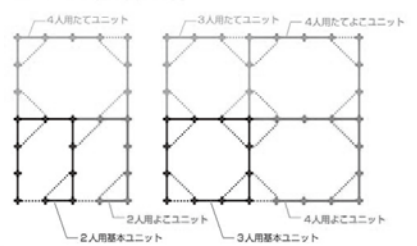
- ① パネル [約 3kg/枚]
ポリプロピレン (PP)
910×1820×t9(mm)
- ② ポスト(支柱) [約 2.2kg/本]
ポリ塩化ビニール (PVC)
L=1835(mm)
- ③ 開口補強材：兼 カーテンレール
スチール
- ④ 補強材
スチール

※①～④は、ユニット単位でのセット注文となります。
写真は3人用基本ユニット

■セット数量

	基本 ユニット	よこ ユニット	たて ユニット	たてよこ ユニット
2人用	パネル 9枚 ポスト(支柱) 10本 開口補強材 1本	6枚 6本 1本	7枚 7本 1本	4枚 4本 1本
3人用	パネル 11枚 ポスト(支柱) 12本 開口補強材 1本	2本 8本 1本	2本 8本 1本	2本 5本 1本
4人用	パネル 13枚 ポスト(支柱) 14本 開口補強材 1本	4本 10本 1本	4本 9本 1本	4本 6本 1本

■ユニット組み合わせ例



■オプション

- ⑤ カーテン
ポリエステル 発注単位：1枚
- ⑥ フック
ステンレス 発注単位：1個 注
- ⑦ フック受け
ポリプロピレン 発注単位：1本 注

注 フックは必ずフック受けと合わせてご使用ください。また、フック受け1本に対して、フックは3個までとしてください。フック1個あたりの耐荷重は5kgです。フックを取り付けたパネルを連続して設置しないください。連続して設置すると倒れるおそれがあります。



⑧ カゴ車
保管や移動に便利です。
積載量目安：4人用基本ユニットで3セット



三和シャッター工業株式会社 商品に関するお問い合わせは ☎0570-063011/03-3346-3011
(土日祝を除く平日9:00～17:00) ※一般電話・公衆電話からは、お内線までご連絡ください。

<http://www.sanwa-ss.co.jp/>

修理に関するお問い合わせは フォルダムサービス FTS ☎0120-3030-17
(年中無休・24時間受付対応)

BX

文化シャッター

「待ったなし」の増水時。 あなたはどう動きますか？

ゲリラ豪雨により相次ぐ浸水被害。

一気に水かさが増す状況で、決め手となるのは“素早く対策ができること”。

文化シャッターの止水製品はカンタン・スピーディに設置が可能。

緊急時も安心してお使いいただけます。

フロントやドアのある開口部、仕切りが無い開口部に

BX止水板 **ラクセット**

BX止水板

工事不要のカンタン対策。

開口部に金具で固定するだけなので、様々な場所に取り付け可能。
設置後にまたいで出入りすることもできます。

簡単
スピード設置

様々な開口部に
取り付け可能

工事不要で
導入可能



ビルや店舗などの通用口に

止水ドア **アクアード**

止水ドア

- 片開きスチールタイプ
- 片開きステンレスタイプ **NEW**
- 両開きスチールタイプ **NEW**

浸水対策を1枚のドアで。

非常時は「レバーを水平に引き上げる」だけ。
扉が枠に密着し、屋内への水の浸入を抑制します。

高い止水性能

軽い操作性

優れた
コストパフォーマンス



シャッターまたはフロントのある開口部に

簡易型止水シート **止めピタ**

簡易型止水シート

急な増水時もスピード設置。

女性ひとりで持ち運びできる軽さで設置もカンタン。
土のうのデメリットを解消し緊急時に備えます。

軽量

スピード設置

コンパクト収納





MUSEUM

ハグミュージアム

人とガスが出会うと、
ぬくもりが生まれる。
未来が生まれる。

human + gas = hu + g



館内ガイドツアー

(無料・要予約)

館内をガイドによりご案内します。(所要時間30分～)



クッキング体験

(有料・要予約)

お料理しながら最新のガスコンロの先進性・便利性を体感いただけます。ご家族やご友人と楽しく学べる多彩なメニューをお手頃価格でご提供します。(1,000円～)



3Dシアター

(無料・要予約)

建築前の家の間取りを実寸大の3D映像でパースラルに体験していただくことができます。新築・リフォームをご検討の方はぜひご利用ください。

※詳細についてはお問い合わせください。(所要時間60分～)



大阪ガス



〒550-0023 大阪市西区千代崎3丁目南2番59号

TEL: 06-6586-3789 (代表)

<http://www.osakagas.co.jp/company/efforts/hugmuseum/index.html>

■開館時間・休館日

【1F-4F】10:00～18:00 水曜日(祝日は開館)・年末年始休館

【5F】10:00～17:00 土日祝・年末年始休館

※5Fは完全予約制

電車・バスをご利用の場合

■大阪市営地下鉄 長堀鶴見緑地線「ドーム前千代崎」駅

下車 ①番出口より徒歩3分

■阪神なんば線「ドーム前」駅 下車 ②番出口より徒歩3分

■JR環状線「大正」駅 下車 正面の信号を渡り右へ徒歩7分

■大阪市交通局 市営バス

○野田阪神前・鶴町四丁目、地下鉄住之江公園方面から

「ドーム前千代崎」バス停下車徒歩3分

○なんば、天保山方面から「大正橋」バス停下車徒歩5分

▶▶▶ご見学をご希望の方はこちらまで ※団体でのご見学も可能です

大阪ガス(株) 法人第2営業部
兵庫営業チーム

TEL

078-360-3024

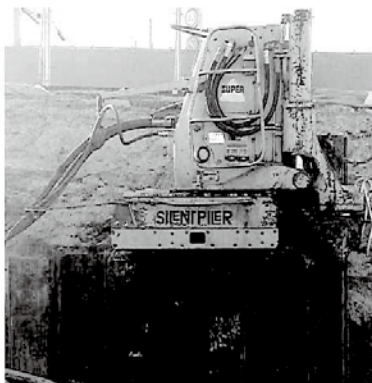
担当
平井

建物の礎を、創造し、形にする会社

大創建設工業株式会社

〒650-0015 神戸市中央区多聞通3丁目3番7号
TEL (078) 371-0325 FAX (078) 341-6015

E-mail: daisou@arion.ocn.ne.jp



営業品目

- ・各種土留工事の設計及び施工
連続地中壁、H形鋼打抜、鋼矢板打抜
山留支保工・仮設棧橋の架設、アンカー工、霧液注入工
ダウンザホールハンマ、大口径ポーリング工法 (BH)
- ・既製コンクリート杭・場所打ち杭・鋼管杭の設計及び施工
- ・既存杭の引抜・破碎工事
- ・深礎混合処理工 (柱状地盤改良工事)
- ・一般土木請負工事他



RENEWAL 姫路 230戸



RENEWAL 放出 270戸

資産価値を守る大規模修繕工事



国土交通大臣許可(特-27)第14858号

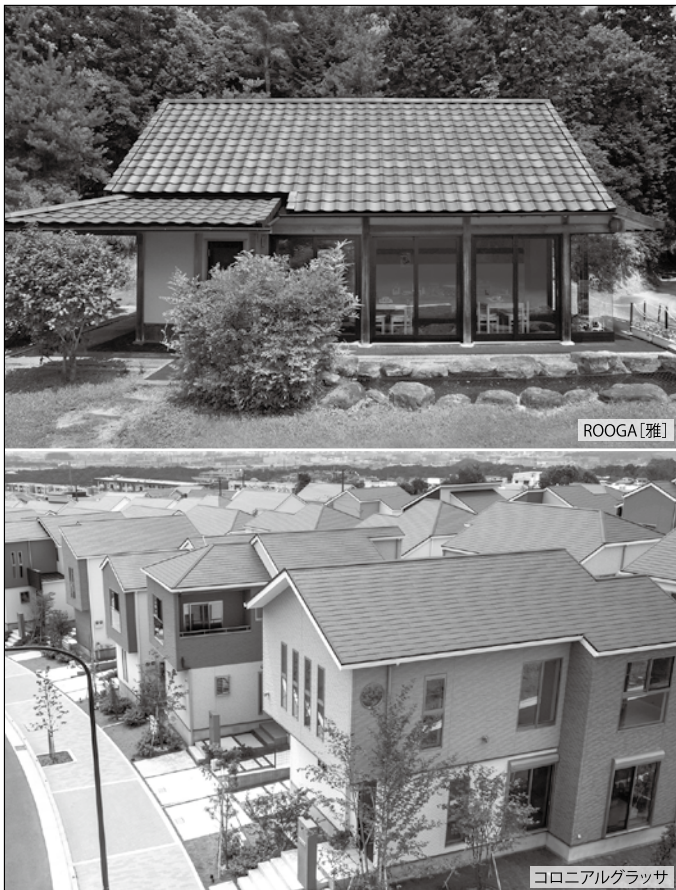
関西塗研工業株式会社

本社 大阪市福島区海老江8丁目8番7号
〒553-0001 TEL(06)6454-1271(代)
FAX(06)6454-1672
神戸営業所 神戸市中央区神仙寺通4丁目6番14号
e-mail : info@kansaitoken.co.jp
http://www.kansaitoken.co.jp

ISO認証 9001:2008 / JIS Q 9001:2008 認証取得
(鋼構造物大規模改修工事部門)



FS556255 / ISO9001:2008



ROOGA [雅]

コロニアルガラス

KMEW

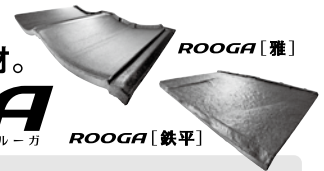
住まいの減震化に、 軽くて強い屋根材を。

地震が多発する日本において、住まいの耐震化は非常に重要な課題です。ケイミュ屋根材は、すべてが地震時の揺れを抑える軽量設計。これからの安心・快適な住まいづくりをお手伝いします。

自然災害に強い屋根材。

ROOGA

ルーガ ROOGA [鉄平]

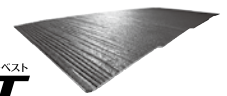


- 地震に有利な軽量設計。 ●台風でも飛散しにくい。
- 衝撃に強く割れにくい。 ●紫外線による変色を抑制。

軽量かつ充実のカラー展開。

COLOR BEST

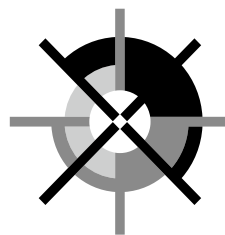
カラーベスト コロニアルガラス



- 地震に有利な軽量設計。 ●発色の美しさが長持ち。
- 衝撃に強く割れにくい。 ●音や熱を通しにくい。

ケイミュ株式会社 [神戸営業所] 〒650-0031 神戸市中央区東町126 神戸シルクセンタービル8F
(旧社名:ソボタ松下電工外装株式会社) ●ホームページアドレス <http://www.kmew.co.jp/>

お客様
ご相談窓口 ナビダイヤル ☎0570-005-611
受付時間…月~金 9:00~17:00 FAX.0743-57-9885



**DAIWA
SENPAKU
TOCHI**



本年度 5 作品受賞
5 年連続 15 作品受賞

大和船舶土地株式会社

〒651-0088 神戸市中央区小野柄通3-1-15 鈴木ビル5F T.078-232-3131

<http://www.daiwasenpaku.co.jp>

Belltree 御幸通 (2016年9月竣工)

設計プロデュース

大和船舶土地(株)一級建築士事務所

設計・監理

有限会社 ランドサット一級建築士事務所

施工

まこと建設株式会社

お問い合わせ：有)大和建物管理 担当：下須賀 078-232-7070



入会のご案内

当協会では随時、正会員・賛助会員を募集しております。
入会に関する質問は、メール・FAX・電話にてお問い合わせ下さい。

会員の種別

正会員… 建築士法により兵庫県下において建築士事務所を開設し事務所登録をした開設者の方。

会費	54,000円/年	入会金	50,000円
----	-----------	-----	---------

賛助会員… 本会の目的に賛同する正会員以外の個人または法人を会員とします。

会費	50,000円/年	入会金	入会金なし
----	-----------	-----	-------

※上記会費・入会金の他に、各支部の規定により若干の支部費を納めて頂くことがあります。

入会の手続き

入会は、入会申込書を支部に郵送してください。到着次第連絡いたします。

入会申込書の提出

申込書にご記入の上、
原則、会員になろうとする
事務所の所在地がある
支部へご提出ください。

入会手続き

提出いただいた
入会申込書は支部を経由し
本部理事会にて正式承認と
なります。

入会手続き完了

入会手続き完了後、
①会員の章 ②会員名簿
③建築設計関係業務報酬表
④広報誌「くすのき」
⑤日事連会報月刊「日事連」
⑥会員証 を随時発行いたします。

■アプローチ47号投稿のお願い

本誌面を通じ会員の交流や意見、研究等の発表の場として活用して戴きたく、会員・賛助会様には、内容については自由ですのでたくさんのご投稿をお待ちしております。

投稿先

〒651-0088 神戸市中央区小野柄通3-1-15 鈴木ビル
大和船舶土地株式会社 鈴木祐一
TEL.078-232-3131/FAX078-232-3226
<http://www.daiwasenpaku.co.jp>



編集後記

2016年も残り少なくなりました。

今年は、4月熊本に震度7の地震が発生し、11月には博多駅前の道路が30mに渡り陥没する事故が起こりました。

2020年オリンピック・パラリンピックの東京も色々な意味で、忙しくなってきました。来年こそは、何事も無く平和に、無事にすごせるように、祈りたいものです。

さて、今年度も神戸支部広報誌「アプローチ No.46」の発行が皆様のご理解、ご協力のおかげをもちまして、お忙しい中たくさんのご投稿を頂きました。興味深い内容の各紙面となり関係者の方々に改めまして深く感謝申し上げます。

広報部 前田 實夫

■編集 一般社団法人兵庫県建築士事務所協会 神戸支部
広報部 担当副支部長 成瀬 秀一
広報部長 鈴木 祐一
広報副部長 佐川 圭
スタッフ 藤木 宏互
三宅 正浩
寶谷 勝馬
前田 實夫
賛助会 三和シャッター工業㈱ 三原 芳之
大創建設工業㈱ 浅井 嗣也
関西塗研工業㈱ 藤田 秀人

■発行 一般社団法人兵庫県建築士事務所協会 神戸支部
〒650-0003
神戸市中央区山本通2-4-24
リラズゲート 1-5A
㈱アーキノヴァ設計工房
TEL 078-222-3231
FAX 078-222-9980
URL <http://www.kobe-aaf.org/>

■編集 集 デジタルグラフィック株式会社
神戸市中央区弁天町1番1号
TEL 078-371-7000
FAX 078-371-7001

